石水渓バンガロー施設トイレ改築工事設計

建　築　図		構　造　図		電　気　設　備　図		機　械　設　備　図	
A00	図面リスト	S01	構造特記仕様書１	E01	電気設備工事特記仕様書１	M01	機械設備工事特記仕様書１
A01	建築工事特記仕様書１	S02	構造特記仕様書２	E02	電気設備工事特記仕様書２	M02	機械設備工事特記仕様書２
A02	建築工事特記仕様書２	S03	構造特記仕様書３	E03	電気設備工事特記仕様書３	M03	機械設備_配置図
A03	建築工事特記仕様書３	S04	構造特記仕様書４	E04	電気設備_配置図	M04	衛生器具表_換気機器仕様
A04	建築工事特記仕様書４	S05	伏図	E05	分電盤図・照明器具姿図	M05	給排水衛生・換気設備_平面図
A05	案内図	S06	軸組図	E06	電気設備_平面図	M06	浄化槽詳細図１
A06	配置図・概要書・求積図	S07	基礎梁・スラブリスト・柱頭柱脚金物伏図			M07	浄化槽詳細図２
A07	内部仕上表・平面図・天井伏図・屋根伏図						
A08	立面図・外部仕上表						
A09	矩計図						
A10	展開図１						
A11	展開図２						
A12	展開図３						
A13	建具表						
A14	詳細図						
A15	解体詳細図１						
A16	解体詳細図２						
A17	解体詳細図３						
A18	仮設計画図（参考）						

工　事　特　記　仕　様　書

Ⅰ　工事名　　石水渓バンガロー施設トイレ改築工事

Ⅱ　工事概要
1. 工事場所　三重県亀山市安坂山町地内
2. 敷地面積　957.01 m2
3. 工事内容
　様名称　トイレ
　構造　木造　平屋建
　建築面積　１４．９５m2
　延床面積　１４．９５m2
　工事項目　建築工事、電気工事、給排水衛生設備工事、換気工事、解体工事、浄化槽工事

Ⅱ　建築工事仕様
1. 標準仕様
　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は，国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。
2. 特記仕様書の表記
　(1) 項目は，番号に○ 印の付いたものを適用する。
　(2) 特記事項は，○ 印の付いたものを適用する。
　　⊙ 印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。特記事項に記載される内容が複数ある事項については○印の付いたものを適用し，※印の付いたものは適用しない。
　　⊙ 印と◎ 印の付いた場合は，共に適用する。
　　使用材料等で、複数の材料に○印が付いたものは図面による。
　(3) 特記事項に記載の（　.　.　）内表示番号は，標準仕様書の当該項目，当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
① 一般共通事項	①適用基準等	⊙建築工事標準詳細図　（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 ⊙営繕工事写真撮影要領（令和5年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 ⊙デジタル工事写真の小黒板情報電子化について　（令和5年3月15日付け国技建管第6号） ⊙建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部 ・ ・
	②工事実績情報の登録	(1.1.4) ⊙請負者は、受注時において工事請負代金額が、500万円の工事について、(財)日本建設情報総合センター（以下「JACIC」）が運営する工事実績情報サービス(CORINS)に、「CORINS入力システム」により当該工事に係るデータ登録を行わなければならない。 データ登録は、受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、契約締結後10日以内にJACICに対し登録申請を行い、JACICから「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。 なお、工事請負代金額が2500万円以上の工事の場合は、受注時に加えて、変更及び完成時においても同様に「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、登録内容の変更時にあっては、変更契約締結後10日以内に、完成時にあっては、工事完成後10日以内にJACICに登録申請しなければならない。 なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。 ただし、期間には土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する国民の祝日等は含まない。 ⊙請負者は、下請負に付する場合は、別に定める三重県建設工事執行規則施工に関し、必要な書類に様式を定める要綱に従い、部分下請通知書（第9号様式）を監督員に提出しなければならない。 ⊙請負者は、工事を施工するために下請負契約を締結した場合には下請代金にかかわらず、施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出しなければならない。 ⊙請負者は、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事現場の見やすい場所と公衆の見やすい場所に掲げなければならない。 また、請負者は、施工体系図を別に定める様式により監督員に提出しなければならない。
	3 電気保安技術者	(1.3.3) ※適用する
	④発生材の処理等	(1.3.11) ・引渡しを要するもの　（　　） ・特別管理産業廃棄物　※有（　　） 　処理方法（　　） ・現場において再利用を図るもの（　　） ・再生資材の利用を図るもの ⊙アスファルトコンクリート塊 ⊙セメントコンクリート塊 ・建設発生木材 ・引渡しを要するもの、再生資源の利用を図るものについては調書作成し、監督員へ提出すること。 ⊙引渡しを要しないもの、再生資源化を図るもの以外のものは、全て工事現場外に搬出し、建設リサイクル法、資源有効利用促進法、廃棄物処理法その他関係法令に基づくほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。 （マニフェスト A、B2、D票を提示し、E票は、写しを提出すること。）
	⑤環境への配慮	(1.4.1) 建築物内部に使用する材料等は，設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に，次の１）から５）を満たすものとする。 １）合板，木質系フローリング，構造用パネル，集成材，単板積層材，ＭＤＦ，パーティクルボード，その他の木質建材，ユリア樹脂板，壁紙，接着剤，保温材，緩衝材，断熱材，塗料，仕上塗材は，アセドアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ないものとする。 ２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ３）接着剤は，可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含まない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ５）１）、３）及び４）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒド放散量	該当する材料
規制対象外	① JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS適合品 ａ．接着剤等不使用 ｂ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ｄ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 ｆ．ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種	① JIS及びJASのF☆☆☆品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品

⑥材料の品質等　(1.4.2)
本工事に使用する材料は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASのマーク表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。
（1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
（2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
（3）安定的な供給が可能であること
（4）法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得していること
（5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
（6）販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会等）が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価書等の写しを、監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

⑦建築材料等
品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。
また、建設工事で得られた再生資源の活用はもちろんのこと、他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとし、「みえ・グリーン購入基本指針」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める環境配慮を行うこと。（同指針に基づき、木材を使用する場合、原料として使用される原木は、県産間伐材、林地残材又は小径木等とするか、又はその伐採にあたって生産された国における森林に関する法令に照らして合法な木材とすること。）
※ 本工事に使用する木材は、原則として亀山市内の森林から産出された「地域材」を使用し、調達できない場合は県産材、国産材の順に利用するものとする。
なお、県産材については「三重の木」利用促進協議会が承認する「三重の木」を優先して使用する。

⑧技能士　(1.5.2)
※ 職種別に可能なものについては積極的に活用のこと。

⑨工法の提案　(1.5.8)
設計図書に定められた工法以外で所要の品質及び性能の確保が可能な工法並びに環境の保全に有効な工法の提案がある場合は、監督職員と協議する。

10 化学物質の濃度測定　(1.5.9)
※ 測定物質(○で示したものとする。)

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校,教育施設	○	○	○	○	○	○
	住宅	○	○	○	○	○	
	その他	○	○	○	○	○	

※ 測定箇所（ ※ 図示　・　　）
※ 測定方法（ ※ パッシブ法　・ アクティブ法　　）
※ 試料は、内装工事完了から2週間以上の通風換気を行い、また、換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了してから採取することとし、困難な場合は監督員と協議すること。
※ 報告書提出部数　２部

11 技術検査　(1.6.2)
回数（　　）、実施する段階（　　）

12 特別な材料の工法
標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

⑬リサイクル認定製品の利用
※ 本工事では三重県リサイクル製品利用推進条例に基づき性能、品質、数量、価格等に考慮し、優先的に認定製品を使用すること。入手困難な場合は監督員と協議すること。

⑭施工中の安全管理
※ 接着剤及び塗料の塗布にあたっては、使用方法及び塗布料を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した等を室外へ放出させること。

⑮騒音・振動の防止
※ 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械を使用する。

⑯排出ガス対策建設機械の使用
※ 第３次排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。

⑰工事写真
※ 電子納品とし、次のものを提出する。
※ CD　部数は「20 電子納品」を参照
※ 全写真のサムネイルを印刷したもの（A4版用紙）　1部
※ 代表的写真を抽出し、L版相当サイズ（A4版用紙に1ページあたり3枚）で印刷したもの　1部

⑱完成図等　(1.7.1～3)(表1.7.1)
※ 作成する（ ※ 完成図　・ 保全に関する資料 ）
※ 完成図作図範囲(配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等)
なお、完成図の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。
⊙ CADによる作成、普通紙に出力したもの（ ※ 要　・ 不要 ）
ただし、作成できない場合は監督員との協議による。
⊙ CADデータによる提出（ ※ 要　・ 不要 ）
ただし、提出できない場合は監督員との協議による。

19 完成写真
※ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。（A4版用紙に1ページあたり3枚）
・ アルバム 1部 （大きさ 335mm×290mm程度　カラー）
※ 箇所数は 外観4面 各室2面 程度とする。
規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。

⑳電子納品
※ 工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。
（提出部数　※ 2部　・　部）
※ 工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。
（提出部数　※ 2部　・　部）

㉑設備工事との取合い
施工範囲
⊙ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
⊙ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
⊙ 駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工図
※ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

㉒設計GL
※ 図示のベンチマーク（B.M）　・○○○　FL=○○
（現状地盤は Ｂ.Ｍ　　-120～-240　mm）

㉓養生その他
工事施工に際し既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならい補修すること。

㉔事故報告
工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書（三重県公共工事共通仕様書第13号様式）を監督員に速やかに提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

㉕調査協力
受注者は、発注者が行う生コンクリートに関する調査に協力すること。
※調査内容については、購入先、購入価格、資材の搬入と施工に条件に関すること等。詳細は監督員と別途協議によるものとする。

㉖環境保全活動への協力
受注者は、亀山市が取組んでいる環境保全活動に協力するものとする。詳細は監督員と別途協議するものとする。

㉗提出書類
監督員より別途指示するものとする。

㉘建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
⊙風圧力
風速（Vo=３４ m/s）
地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ ）
⊙積雪荷重等
垂直積雪量：４０cm　積雪の単位荷重：２０N/m2

② 仮設工事
①足場その他　(2.2.4)
※ 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 平成21年４月策定）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び巾木の機能を有するものを設置しなければならない。
また、定置する足場及び作業構台の類は、別契約の関係請負者に無償で使用させる。

2 監督職員事務所　(2.3.1)
※ 設置する
監督職員事務所の規模　（単位 :m2 ）

規模	※	・	・	・	・
面積	(10程度)	(20程度)	(35程度)	(65程度)	(100程度)

監督職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕　上　げ
床	合板張り 又は ビニール床シート張り
内壁、天井	合板 又は せっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋　根	溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

3 監督職員事務所の備品等
備品等の設置

種類	机・いす	書棚	黒板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長ぐつ	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	請負者加入電話機・FAX	冷暖房機器
数量	個	台	個	台	台

④工事用水
構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（○有償　・無償）

⑤工事用電力
構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（○有償　・無償）
本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。

③ 土工事
1 埋戻し及び盛土　(3.2.3)(表3.2.1)
埋戻し及び盛土の種別
・Ａ種　適用場所（　　）
・Ｂ種　適用場所（　　）
・Ｃ種　適用場所（　　）土質（　）　受渡場所（　）
・Ｄ種　（細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。）
　適用場所（　　）

②建設発生土の処理　(3.2.5)
⊙構外搬出適切処理　・構内指定場所に堆積　・構内指定場所に敷均し

③山留めの撤去、存置　(3.3.3)
鋼矢板等の抜き跡の処理　・砂充填　・（　　）
山留め壁等　⊙ 撤去　・存置　存置範囲（※図示　・　　）
範囲は浄化槽工事による。

④ 地業工事
1 杭の施工管理
杭工事特記仕様書による。

2 適用基準
本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号　「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）

3 施工記録
受注者は、杭の施工期間中は、１ 週間ごとに、その週に施工した杭の施行記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。
たうえで提出し、確認を受けること。
また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

4 根拠資料
共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第３１条第４項又は第５項（第３８条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から１０年とする。また、発注者から請求があった場合は、速やかに提出または提示すること。

5 試験杭及び試験堀　(4.2.2)
・ 試験杭　位置、本数及び寸法　図示（図面番号：　）
・ 試験堀　位置、本数及び寸法　図示（図面番号：　）

6 杭の支持層
支持層の位置、土質　・ 図示（図面番号：　）　・（　　）

7 水平方向の位置ずれ
（　）mm以下

8 杭の載荷試験　(4.2.3)
試験方法　・ 鉛直載荷　・ 水平載荷　・（　　）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置、本数　・ 図示（図面番号：　）　載荷荷重　（　　kN）
報告書　・ 提出部数　2部

9 地盤の載荷試験　(4.2.4)
試験方法　※ 平板載荷　・（　　）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置　・ 図示（図面番号：　）　載荷荷重　（　　kN）
報告書　・ 提出部数　2部

10 既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭　(4.3.1)（表4.3.1）(4.3.3) (4.3.4) (4.3.5) (4.3.6) (4.3.8)
・ PHC杭
　・ A種　・ B種　・ C種　・ D種　・ E種　・ F種
・ SC杭
・ PRC杭
・ 上記以外の建築基準法に基づく杭
（参考表）

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考

先端形状　・ 開放型　・ 閉そく型

施工方法
・ セメントミルク工法
　・ オーガーの支持層への掘削深さ
　　・（　）m　・ 図示（図面番号：　）
　・ 杭の支持層への根入れ深さ
　　・（　）m　・ 図示（図面番号：　）
・ 特定埋込杭工法
　・ 杭の根入れ深さ
　　・（　）m　・ 図示（図面番号：　）
　・ 根固め液及び杭周固定液の管理試験
　　・標準仕様書[4.3.4(6)(ｺ)]　・（　　）
継手　・ アーク溶接　・ 無溶接継手（工法：　）
杭頭の処理　・ 行う　・ 行わない

11 鋼杭地業　(4.4.3) (4.4.4) (4.4.5) (4.4.6) (4.3.5) (4.3.8)
・ 鋼管杭　・ SKK400　・ SKK490
・ H形鋼杭　・ SHK400　・ SHK490M
　径　・ 300　・ 350　・ 400　・ 450　・（　　）
　長さ（　）m
継手　・ JISA5525(鋼管ぐい)
施工方法
・ 特定埋込杭工法
　・ 杭の根入れ深さ
　　・（　）m　・ 図示（図面番号：　）
杭頭の処理　・ 行う　・ 行わない

12 場所打ち
コンクリート杭地業　(4.5.1) (4.5.4) (4.5.5) (4.5.6)
施工方法
・ アースドリル工法
・ リバース工法
・ オールケーシング工法
・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法
拡底　・ 行わない　・ 行う（　）
杭の根入れ深さ
・（　）m　・ 図示（図面番号：　）

一級建築士事務所　コバリ建築設計
一級建築士　小林由紀子　登録番号第342316号
三重県知事登録　第1-2362号

④ 地業工事〈続き〉

孔壁の超音波測定　・行う　・行わない
帯筋の加工及び組立　・図示（図面番号：　　）
鉄筋の最小かぶり厚さ　（　　）mm
鉄筋かごの補強
　・図示（図面番号：　　）
継手　・重ね継手　・（　　）
コンクリートの種別　・A種　・B種　(表4.5.1)
　設計基準強度　（　　）N/mm²
　セメントの種類　・高炉セメントB種　・（　　）
　スランプ（cm）　・18　・（　　）
　構造体強度補正値（S）・3N/mm²　・（　　）

13 地盤改良

・（　　）工法
　・六価クロム溶出試験　・室内配合試験　・一軸圧縮試験

⑭ 砂及び砂利地業　(4.6.2)(4.6.3)

砂利
⊙再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込砕石　・（　　）
砂
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂　・（　　）
施工範囲　⊙ 図示（図面番号：A09、S07）
厚さ(mm)　・60　⊙（100）
・仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑮ 捨コンクリート地業　(4.6.4)

厚さ(mm)　⊙ 50　・（　　）
施工範囲　⊙ 図示（図面番号：A09、S07）
・仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑯ 床下防湿層　(4.6.2)(4.6.5)

施工範囲　⊙ 図示（図面番号：A09、S07）
　ポリエチレンフィルム厚さ　⊙ 0.15mm以上　・（　　）
⊙防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。

⑤ 鉄筋工事

1 鉄筋

略

構造特記仕様書による

⑥ コンクリート工事

1 ～ 14

略

構造特記仕様書による

7 鉄骨工事

1 ～ 22

略

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 ～ 4

略

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水　(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3)～(表9.2.8)

種　別	施　工　箇　所

改質アスファルトルーフィングシート
　種類　・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]　・図示（　　）
　厚さ　・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]　・図示（　　）
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
　種類　・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]　・図示（　　）
　厚さ　・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]　・図示（　　）
絶縁用シート
　・ポリエチレンフィルム（厚さ　0.15mm以上）
　・フラットヤーンクロス（70g/㎡）
押え金物
　・アルミ製　L-30×15×2.0(mm)　・図示（図面番号：　　）

2 改質アスファルトシート防水

断熱材
　・屋根保護防水断熱工法
　　種類　（　　）　厚さ　（　　）mm
　・屋根露出防水断熱工法
　　種類　（　　）　厚さ　（　　）mm

屋根保護防水　(表9.2.3)～(表9.2.6)
　立ち上がり部の保護コンクリート　・図示(図面番号：　　)
　乾式保護材　・使用する
　立上り部保護れんが　・JIS R 1250　・（　　）

脱気装置　(表9.2.7)
　・設置数量　図示(図面番号：　　)　種類（　　）

屋根露出防水における仕上塗料　(表9.2.7)(表9.2.8)
　・図示(図面番号：　　)　種類（　　）　使用量（　　）

屋内防水密着工法における保護層　(表9.2.9)
　・図示（図面番号：　　）
　E-1の工程3　・行う　・行わない

防水層の下地モルタル塗り　(9.2.4)
　・図示（図面番号：　　）
立上がりのコンクリート打放し仕上げの種別
　種類　・B種　・（　　）

屋根露出防水絶縁断熱工法　(9.2.4)
　ルーフドレン回り及び立ち上がり部周辺断熱材の張りじまい位置
　・図示(図面番号：　　)

保護コンクリートの厚さ　(9.2.5)
　こて仕上げ　・水下 80mm以上　・（　　）
　床タイル張り　・水下 60mm以上　・（　　）
　立上り部の保護方法
　　・乾式保護材　・れんが押え　・コンクリート押え
　　・モルタル押え（屋内等）　・（　　）
屋上排水溝
　・図示(図面番号：　　)

(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)～(表9.3.3)

種　別	施　工　箇　所

改質アスファルトシート
　種類　・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]　・図示（　　）
　厚さ　・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]　・図示（　　）
粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ及び部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ
　種類　・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]　・図示（　　）
　厚さ　・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]　・図示（　　）
押え金物の材質、形状、寸法
　・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)　・（　　）
仕上塗料
　・図示（図面番号：　　）　種類（　　）　使用量（　　）
脱気装置
　・設置数量　図示（図面番号：　　）　種類（　　）
断熱材
　・屋根露出防水絶縁断熱工法
　　種類　（　　）　厚さ（　　）mm
防湿用シートの設置　・有り　・無し

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2)(9.4.3)(9.4.4)(表9.4.1)(表9.4.2)(表9.4.3)

種　別	施　工　箇　所

ルーフィングシート
　種類　・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]　・図示（　　）
　厚さ　・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]　・図示（　　）
絶縁用シート
　・発砲ポリエチレンシート　・（　　）
固定金具　材質、寸法形状（　　）
　・図示（図面番号：　　）
断熱材　種類、厚さ
　・機械的固定工法　図示（図面番号：　　）
　・接着工法　図示（図面番号：　　）
仕上塗料
　・図示（図面番号：　　）　種類（　　）　使用量（　　）
接着工法における脱気装置
　・設置数量　図示(図面番号：　　)　種類（　　）
防湿用フィルムの設置　・有り　・無し
S-M2又はS1-M2で立上りを接着工法
　立ち上がり面のシート厚さ　・1.5mm　・（　　）mm
屋内保護密着工法
　モルタル塗り厚さ　・（　　）mm
　立上り部の保護モルタル塗厚さ　・7mm以下　・（　　）mm
目地処理
　PC下地　・図示（図面番号：　　）
増張り（S-F1、S1-F1）
　PC入隅部　・図示（図面番号：　　）
機械的固定工法
　風圧力に対応した工法　・図示(図面番号：　　)

4 塗膜防水

(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

施　工　箇　所	種　別
	X-1
	X-2
	Y-1
	Y-2

脱気装置（X-1）
　・設置数量　図示（図面番号：　　）　種類（　　）
防水層の工程数及び各工程の使用量（Y-1、Y-2）
　・製造所の仕様による　・（　　）
保護層（Y-2）　・図示（図面番号：　　）
仕上塗料
　・図示（図面番号：　　）　種類（　　）　使用量（　　）

5 ケイ酸質系塗布防水　(9.6.1)(9.6.3)(9.6.4)(表9.6.1)(表9.6.2)

適用部位　・図示（図面番号：　　）
防水層の種別　・C-UI　・C-UP
防水層の下地
　壁及び天井部の仕上げ　・コンクリート打放し仕上げ（B種）
　　・図示（図面番号：　　）
下地処理　・標準仕様書[9.6.4](2)　・（　　）

⑥ シーリング　(9.7.2)(9.7.3)(表9.7.1)

⊙ 標準仕様書[表9.7.1]による

施　工　箇　所	目地寸法	種　類

接着性試験　(9.7.5)
　・簡易接着性試験　・引張接着性試験

10 石工事

1 ～ 11

略

11 タイル工事

1 ～ 2

略

⑫ 木工事

1 ～ 8

略

構造特記仕様書による

⑬ 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺　(13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

屋根葺形式	材種	厚さ(mm)	下葺の種類	備考
⊙ ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板横葺き	⊙ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金メッキ鋼板	⊙0.4	⊙ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ	

風圧力及び積雪荷重に対応した工法
　・図示（図面番号：　　）
雪止め　・図示（図面番号：　　）

2 折板葺　(13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)

緊結方法	板厚(mm)	山の高さ(mm)	山のピッチ(mm)	耐力区分
・重ね形 ・はぜ締め形	・0.8 ・0.6	・90 ・（　）	・（　）	・（　）
	材種			軒先面戸板
	・塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合板めっき鋼板 ・（　）			・あり ・なし

屋内のタイトフレーム　材料　・（　　）
断熱材　種別　・ガラス繊維シート　・（　　）
　厚さ(mm)　・5　・（　　）
　防火性能　・（　　）
風圧力及び積雪荷重に対応した工法
　・図示（図面番号：　　）
けらば納め　・けらば包み　・（　　）

3 粘土瓦葺　(13.4.2)(13.4.3)

種　類	大きさ	産　地	役物の種類	棟の工法

凍害試験　・行う　・行わない
雪止め瓦　・使用する
瓦桟木の材種、寸法　・杉（防腐処理）　21×15　・（　　）
棟補強用心材の材質、寸法　・杉（防腐処理）　40×30　・（　　）
棟補強等に使用する金物等の材質、形状、寸法、留付け方法
　・図示（図面番号：　　）
下葺材料の種類　・（　　）
風圧力及び積雪荷重に対応した工法　・図示（図面番号：　　）
桟木の留付け工法　・図示（図面番号：　　）
棟の工法　・標準仕様書[13.4.3](4)　・図示（図面番号：　　）

4 とい　(13.5.2)(表13.5.1)(表13.5.2)(13.5.3)(表13.5.4)

材種　・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)　・配管用鋼管(白管)　・（　　）
耐酸被覆鋼板　材質等　・（　　）
受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔　・図示（図面番号：　　）
　軒といの取付け間隔（多雪地域）　・0.5m以下　・（　　）
鋼管製といの防露巻工法　・標準仕様書[表13.5.4]　・（　　）

14 金属工事

1 ステンレス　(14.2.1)

表面仕上げ　※ HL仕上げ　・（　　）

2 アルミニウム　(14.2.2)(表14.2.1)

表面処理の種別
　・AB-1　・AB-2　・AC-1　・AC-2　・BA-1
　・BA-2　・BB-1　・BB-2　・BC-1　・BC-2
　常温乾燥形の塗装　・（　　）
陽極酸化被膜の着色方法　※ 二次電解着色　・（　　）
陽極酸化被膜の色合い等　・（　　）

3 鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.3)(表14.2.2)

亜鉛めっきの種別
　・A種　・B種　・C種　・D種　・E種　・F種

4 軽量鉄骨天井下地　(14.4.2)（表14.4.1)(14.4.3)（表14.4.2)(14.4.4)

野縁などの種類
　屋内　※ 19形　・（　　）
　屋外　※ 25形　・（　　）
屋外の野縁受等の間隔　・図示(図面番号：　　)
吊りボルトの補強方法（@900mm超）　・図示(図面番号：　　)
吊りボルトの水平補強、斜め補強
　・1.5≦天井ふところ≦3.0m　・標準仕様書[14.4.4](8)
　　・図示(図面番号：　　)
　・天井ふところ＞3.0m　図示(図面番号：　　)
・耐震天井　図示(図面番号：　　)
・耐風圧の補強　図示(図面番号：　　)

5 軽量鉄骨壁下地　(14.5.3)(表14.5.1)(14.5.4)

スタッド、ランナーの種類
　・標準仕様書[表14.5.1]　・図示(図面番号：　　)
スタッドの高さ5m超
　・図示(図面番号：　　)
出入口、開口部の補強　・標準仕様書[14.5.4](4)　・（　　）

6 金属成形板張り　(14.6.2)(14.6.3)

施工箇所		
種　別	・アルミニウム ・ステンレス　・　鋼	
形　状	・スパンドレル形 ・パネル形	
表面処理	・	

取付け用下地　・図示(図面番号：　　)
長尺ものにおける伸縮調整継手
　・設ける　図示(図面番号：　　)

7 アルミニウム製笠木　(14.7.2)(14.7.3)(表14.7.1)

部材の種類　・250形　・300形　・350形
表面処理　・（　　）
風圧力及び積雪荷重に対応した工法　・図示（図面番号：　　）

8 手すり　(14.8.2)

材種	表面処理の種別	施工箇所
アルミニウム	・標準仕様書[表14.2.1]の種別(　　種) ・（　　）	・スロープ ・階段
鋼	・標準仕様書[表14.2.2]の種別(　　種) ・（　　）	
ステンレス	・HL程度 ・（　　）	

9 タラップ　(14.8.3)

材種	表面処理の種別	施工箇所
鋼	・標準仕様書[表14.2.2]の種別(　種)	
ステンレス	・	

10 天井見切縁

材種　・アルミニウム合金製　・塩化ビニル製

11 点検口

取付箇所	材種	寸法	形式
・天井	・アルミニウム製	・450角 ・600角	・額縁タイプ ・目地タイプ
・床	・アルミニウム製	・450角 ・600角	

12 ガルバリウム製見切り

⑮ 左官工事

1 ラス系下地　(15.2.4)

通気工法　・二層下地　・単層下地
直張り工法　・ラスモルタル下地　・ラスシートモルタル下地
ラス及び補強用平ラス

素材による区分	種類	質量 (kg/㎡)
・（　　）	・（　　）	・（　　）

ラスシート

山高	山ピッチ(mm)	質量(kg)	溶接ピッチによる区分
・（　　）	・（　　）	・（　　）	・（　　）

外張断熱工法　・図示（図面番号：　　）
耐力壁、防火構造等の指定　・図示（図面番号：　　）
ステープルの形状、寸法　・図示（図面番号：　　）
換気口部の措置　・標準仕様書(木造)[11.4.3]　・（　　）

2 せっこうボード
その他のボード下地　(15.2.5)

せっこうボード、せっこうラスボードの種類、厚さ
　・図示（図面番号：　　）　・（　　）
木質系セメント板の種類、厚さ
　・図示（図面番号：　　）　・（　　）

⑮ 左官工事（つづき）

3 こまい下地 (15.2.6)

耐力壁の指定　・図面（図面番号：　　）

4 木ずり下地 (15.2.7)

木ずり用小幅板の樹種　・図示（図面番号：　　）

⑤モルタル塗り (15.3.2)(15.3.5)

材料　・現場調合材料　・既調合材料
既製目地材　⊙ 使用する　図示（図面番号：　A07　）
床の目地　・図示（図面番号：　　）
下地モルタル、下地調整塗材の接着力試験（外壁タイル張り等）
・実施する

6 セルフレベリング (15.5.2)(表15.5.1)

種類　・せっこう系　・セメント系

7 仕上塗材仕上 (15.6.2)(表15.6.1)

種類	呼び名	仕上形状		工法
薄付仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状		・吹付け
	・内装薄塗材E	・砂壁状ジュラク		
	・（　　）	・（　　）		・（　　）
厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	スタッコ状	・吹放し ・凸部処理	・吹付け
			・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて
	・外装厚塗材Si	スタッコ状	・吹放し ・凸部処理	・吹付け
	・外装厚塗材E		・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて ・ローラー
	・（　　）	・（　　）		・（　　）
複層仕上塗材	・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水型複層塗材E ・防水型複層塗材RE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状		・ローラー ・吹付け
	・（　　）	・（　　）		・（　　）
軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・砂壁状 ・平たん状		・吹付け ・こて

内装薄塗材、内装厚塗材（吸放湿性を有するもの）
・JIS A 6909 調湿形
複層仕上塗材の耐候性　※ 耐候形３種　・（　　）
外装厚塗材Cの上塗材
・ セメントスタッコ以外の場合　材所要量（　　kg/㎡）

複層仕上塗材の上塗材の種類 (表15.6.2)

樹脂種類	溶媒種類	外観
・アクリル系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・シリカ系	・水系	・艶無
・ポリウレタン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・アクリルシリコン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・ふっ素系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無

ALCパネル下地の内壁目地　・V形目地付き　・（　　）　(15.6.4)

8 マスチック塗材塗り (15.7.2)(表15.7.1)

種別　・A種　・B種

9 せっこうプラスター塗り (15.8.2)(15.8.3)

材料
下塗り、中塗り　・既調合プラスター　・現場調合プラスター
上塗り　・既調合プラスター　・しっくい塗り

10 しっくい塗り (15.10.1)(15.10.2)(15.10.3)(表15.10.1)(表15.10.2)

下地　・木ずり　・こまい土壁塗り　・せっこうラスボード
・せっこうボード　・（　　）
材料　・現場調合材料　標準仕様書[15.10.2](1)(ｱ)
・既調合材料　標準仕様書[15.10.2](1)(ｲ)
しっくい塗材の種類等　・（　　）
調合及び各層の塗厚
木ずり下地　・標準仕様書[表15.10.1]　・（　　）
こまい土壁下地　・標準仕様書[表15.10.2]　・（　　）
その他の下地　・（　　）

11 こまい壁塗り (15.11.2)(15.11.3)(15.11.4)(15.11.5)(表15.11.2)(表15.11.8)(表15.11.9)

のりの種類
土壁用　・ふのり　・つのまた　・ぎんなんそう　・粉末海藻　・（　　）
砂壁用　・ふのり　・つのまた　・こんにゃくのり
・にかわ　・合成高分子系混和剤　・（　　）
色土の種類　土物仕上げ　・（　　）　大津仕上げ　・（　　）
色砂の種類　・（　　）
下塗りの調合　・標準仕様書[表15.11.2]　・（　　）
塗厚　・標準仕様書[表15.11.8]　・（　　）
耐力壁の指定　・図示（図面番号：　　）
工程種別　※A種　・B種
工法の種類　土物仕上げ　・（　　）　(15.11.7)(15.11.8)
大津仕上げ　・（　　）

11 ロックウール吹付け (15.12.3)

仕上げ吹付け厚さ　（　　）mm

⑯ 建具工事

1 防火戸 (16.1.3)

防火戸の指定　・図示（図面番号：　　）
ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動するもの
・図示（図面番号：　　）

2 見本の製作等 (16.1.4)

建具見本の製作　・実施する
特殊な建具の仮組　・実施する

3 防犯建物部品 (16.1.6)

防犯建物部品　・図示（図面番号：　　）

4 アルミニウム製建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)(表16.2.2)(表14.2.2)(16.2.5)

外部建具の性能等級等
コンクリート系下地、鉄骨下地
・ A種　・ B種　・ C種　・（　　）
木下地
・ D種　・ E種　・（　　）
表面処理　種別　・（　　）　・ 標準色　・ 特注色
内部建具
表面処理　種別　・（　　）　・ 標準色　・ 特注色
防音ドア、防音サッシの遮音性　・（　　等級）
断熱ドア、断熱サッシの断熱性　・（　　等級）
耐震ドアの面内変形追随性　・（　　等級）
建具枠見込み寸法　・図示（図面番号：　　）
結露水の処理方法　・（　　）
水切り板、ぜん板等　・図示（図面番号：　　）
建具周りの止水処理(外部に面するものの内付建具)
・製造所の仕様による　・（　　）

5 網戸等 (16.2.3)

形式　・可動式　・固定式
防虫網
網の材質　・合成樹脂　・ガラス繊維入り合成樹脂
・ステンレス（SUS316）　・（　　）
線　径　・0.25mm以上　・（　　）
網　目　・16メッシュ　・18メッシュ　・（　　）
防鳥網
網の材質　・ステンレス（SUS304）　・（　　）
線　径　・1.5mm　・（　　）
網目寸法　・15メッシュ　・（　　）

6 樹脂製建具 (16.3.2)(16.3.3)(16.3.4)(表16.3.1)～(表16.3.4)

外部建具の性能等級等
コンクリート系下地、鉄骨下地
・ A種　・ B種　・ C種　・（　　）
木下地
・ D種　・ E種　・（　　）
外部建具の遮音性能等級
・ T-A種　・ T-B種　・（　　）
外部建具の断熱性能等級
・ H-A種　・ H-B種　・ H-C種　・（　　）
ガラス　※複層ガラス　・（　　）
建具枠見込み寸法　・図示（図面番号：　　）
表面色　・標準色　・特注色
水切り板　ぜん板　・図示（図面番号：　　）
建具周りの止水処理(外部に面するものの内付建具)
・製造所の仕様による　・（　　）

⑦鋼製建具 (16.4.2)(表16.4.1)(表16.2.1)(16.4.4)(表16.4.2)

簡易気密型ドアセット　・図示（図面番号：　　）
外部建具の耐風圧性　・S-4　・S-5　・S-6
防音ドア、防音サッシの遮音性　・（　　等級）
断熱ドア、断熱サッシの断熱性　・（　　等級）
耐震ドアの面内変形追随性　・（　　等級）
鋼板類の厚さ　・［表16.4.2］　・図示（図面番号：　　）
H>2400超 又は W>950超　・図示（図面番号：　　）

8 鋼製軽量建具 (16.5.2)(16.5.3)(16.5.4)(表16.5.1)

簡易気密型ドアセット　・図示（図面番号：　　）
防音ドア、防音サッシの遮音性　・（　　等級）
断熱ドア、断熱サッシの断熱性　・（　　等級）
耐震ドアの面内変形追随性　・（　　等級）
鋼板類の表面仕上げ
・ 塗装　・ ビニル被覆鋼板　・ カラー鋼板　・ ステンレス鋼板（・HL　・鏡面）
召し合せ、縦小口包み板等の材質
・ 鋼板　・ ステンレス鋼板　・ アルミニウム合板押出形材
鋼板類の厚さ　・［表16.5.1］　・図示（図面番号：　　）
H>2400超 又は W>950超　・図示（図面番号：　　）

9 ステンレス製建具 (16.6.2)(16.6.3)(16.6.4)(16.6.5)(表16.4.1)

簡易気密型ドアセット　・図示（図面番号：　　）
外部建具の耐風圧性　・S-4　・S-5　・S-6
防音ドアセット、防音サッシの遮音性　・（　　等級）
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性　・（　　等級）
耐震ドアセットの面内変形追随性　・（　　等級）
ステンレス鋼板　※ SUS304　・（　　）
表面仕上げ　※ HL　・鏡面仕上げ
曲げ加工　※ 普通曲げ　・角出し曲げ

⑩ 木製建具 (16.7.2)(16.7.3)(16.7.4)(表16.7.1)(表16.7.3)(表16.7.6)(表16.7.7)(16.8.2)(表16.8.4)(表16.8.5)

建具材の含水率　・ A種　※ B種　・ C種
フラッシュ戸、戸ぶすまの合板
種類、材面の品質　⊙ 図示(図面番号：　A13　)
接着の程度　⊙ 1類（水掛り）、2類（その他）　・（　　）
フラッシュ戸の形状
表面板の厚さ　⊙ 標準仕様書[表16.7.6]　・（　　）
引戸の召合わせ　・ いんろう付き　図示（図面番号：　　）
かまち戸　かまち、鏡板の樹種　・図示(図面番号：　　)
ふすま　種別　・ I 型　・Ⅱ型
上張の種類　・図示(図面番号：　　)
縁の仕上げ　・図示(図面番号：　　)
枠及びくつずりの材料　⊙ 図示(図面番号：　A14　)
各木製建具の見込み寸法　・標準仕様書[表16.7.7]
⊙ 図示(図面番号：　A13　)
戸車、レールの外径等　・標準仕様書[表16.8.5]　・（　　）

⑪ 建具用金物 (16.8.2)(表16.8.1)(16.8.3)(16.8.4)(表16.8.2)(表16.8.3)(表16.8.4)

マスターキー　・ 製作する　・ 製作しない
・ 監督員と協議の上システムを決定する
キーボックス　・ 要　・ 不要
金物の種類、見え掛かり部等の材質等
⊙ 標準仕様書[表16.8.1]　⊙ 図示（図面番号：　A13　）
丁番の枚数、大きさ
金属製建具　・標準仕様書[表16.8.2]　・（　　）
樹脂製建具　・標準仕様書[表16.8.3]　・（　　）
木製建具　・標準仕様書[表16.8.4]　・（　　）
レバーハンドル、クレセント等の取付け位置
・ 図示(図面番号：　　)

12 自動ドア開閉装置 (表16.9.1)(表16.9.2)(表16.9.3)(16.9.3)(表16.9.4)

駆動装置の性能値 (16.9.2)
多機能トイレ出入口以外　・標準仕様書[表16.9.1]　・（　　）
多機能トイレ出入り口　・標準仕様書[表16.9.2]　・（　　）
検出装置の性能
・標準仕様書[表16.9.3]　・（　　）
戸の開閉方法　・図示（図面番号：　　）
引き戸用検出装置の種類　・（　　）
凍結防止装置　・行う　・行わない

⑬ 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)(表16.10.1)

性能値
⊙ 標準仕様書［表16.10.1］　・（　　）

14 重量シャッター (16.11.2)(表16.11.1)(16.11.3)

シャッターの種類　・図示（図面番号：　　）
開閉方式　・図示（図面番号：　　）
管理用シャッター、外壁用防火シャッター
・ 耐風圧強度（　　Pa 以上）
保護装置の設置箇所　・図示（図面番号：　　）
管理用シャッターのシャッターケース　・図示（図面番号：　　）
鋼板の種類　・図示（図面番号：　　）
・めっき付着量　・Z12　・F12　・（　　）

15 軽量シャッター (16.12.2)(表16.12.1)(16.12.3)(16.12.4)

開閉方式　・図示（図面番号：　　）
・ 耐風圧強度（　　Pa 以上）
保護装置の設置箇所　・図示（図面番号：　　）
スラットの材質、めっき付着量
・ JIS G 3312　・ Z06　・ F06　・（　）
・ JIS G 3322　・ AZ90　・（　）
スラットの形状
・ インターロッキング形　・ オーバーラッピング形

16 オーバーヘッドドア (16.13.2)(16.13.3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス

耐風圧性能の区分　JIS A 4715　・（　　）
保護装置の設置箇所　・図示（図面番号：　　）

⑰ ガラス (16.14.2)(16.14.3)(16.14.4)

板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等　⊙ 図示(図面番号：　A13　)
留め材　⊙ シーリング　・ ガスケット（　　）
ガラス溝の大きさ等
※ 製造所の仕様による　・ 図示(図面番号：　　)
熱線反射ガラスの映像調整　・実施する

18 ガラスブロック積み (16.14.5)

表面形状、寸法、厚さ　・図示(図面番号：　　)
壁用金属枠、補強材　・図示(図面番号：　　)
カ骨の材質等　・ SUS304、φ5.5はしご形状複筋、単筋　・（　　）
化粧目地モルタルの色　・（　　）
シーリング材の種類　・（　　）
化粧カバーの材質、形状等　・図示（図面番号：　　）
風圧力に対応した工法　・図示（図面番号：　　）
アンカー等の留付け間隔(木下地の場合)　・図示（図面番号：　　）
目地幅、伸縮調整目地　・ 標準仕様書[16.14.5](2)(ｳ)　・（　　）

17 カーテンウォール工事

1 ～ 4

略

2 性能等

⑱ 塗装工事

① 施工一般 (18.2.2)～(18.14.2)

塗料塗り 種類	塗料塗り 種別	施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料の種類
SOP ※ 1種 ・（　）	・ A種 ・ B種		鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	
⊙EP-G	・ A種 ⊙ B種		ボード面	・ A種 ⊙ B種	
⊙Z-UC	・ A種 ⊙ B種		木部	・ A種 ⊙ B種	
⊙WP	・ A種 ⊙ B種		木部	・ A種 ⊙ B種	

3 耐候性塗料塗り(DP) (18.7.2)(表18.7.1)(18.7.3)(18.7.4)

下地の種類	施工箇所	上塗り等級	ｺﾝｸﾘｰﾄ,ECP面における種別
		・ 1級　・ 2級 ・ 3級	・ A種　・ B種 ・ C種

4 オイルステイン塗り (18.12.2)

塗料　・（　　）

⑲ 内装工事

1 ビニル床シート張り (19.2.2)(表19.2.1)

種類	色柄	厚さ(mm)	継目
・ FS ・（　　）	・ 無地 ・ 柄物	・ 2.0 ・（　　）	・ 溶接 ・ 突付け

接着剤の種別、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外　・図示（図面番号：　　）

2 ビニル床タイル張り (19.2.2)(表19.2.1)

寸法・色合	種類		厚さ(mm)
・ 300×300 （　　）	・ コンポジションビニル床タイル(KT) ・（　　）	半硬質	・ 2.0 ・（　　）
・ 450×450 （　　）	・ コンポジションビニル床タイル(KT) ・（　　）	軟質	・（　　）
	・ ホモジニアスビニルタイル		・（　　）

接着剤の種別、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外　・図示（図面番号：　　）

3 特殊機能床材 (19.2.2)(表19.2.2)

・ 帯電防止ビニルシート
厚さ（　　mm）　種類（　　）
・ 帯電防止ビニル床タイル　寸法（　　mm）
厚さ（　　mm）　種類（　　）
・ 視覚障害者用床タイル
種類(・ ビニル床タイル　・（　　））
形状(・ 300×300　・（　　））
・ 耐動荷重性床シート
種類（　　）　寸法（　　）　厚さ（　　mm）
・ ゴム床タイル
色柄（　　）種類（　　）　寸法（　　）　厚さ（　　mm）
接着剤の種別、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外　・図示（図面番号：　　）
・ 防滑り性床シート
厚さ（　　mm）　種類（　　）
・ 防滑り性床タイル　寸法（　　mm）
厚さ（　　mm）　種類（　　）

4 ビニル幅木 (19.2.2)

種類　・図示(図面番号：　　)
高さ　・図示(図面番号：　　)　・ 60mm
厚さ　・図示(図面番号：　　)　・ 1.5mm以上

5 施工 (19.2.3)

下地　・ モルタル　・ ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ　・ 木造　・（　　）
ビニル床シート張りの目地処理工法　・ 突付け　・ 熱溶接工法

⑲ 内装工事（つづき）

6 カーペット敷き

(19.3.2)(19.3.3)(表19.3.1)(表19.3.2)

織りじゅうたん

種別	色柄	パイル形状	織り方
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 無地 ・ 柄物 （標準品）	・ ループ ・ カット ・ カット、ループ併用	・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アキスミンスターカーペット

種別	色柄	パイル形状	パイル長・寸法・総厚	工法
・ タフテット カーペット	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	パイル長 ・ 5～7mm ・ 4～6mm	・ グリッパー ・ 全面接着
・ ニードル パンチ カーペット	・ 無地 ・ 柄物		総厚さ ・（　　）	・ 全面接着
・ タイル カーペット	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	総厚さ、サイズ ・ 6.5mm ・ ・ 500角 ・	・ 全面接着

・ 帯電性(人体帯電圧の値3kV以下)

タイルカーペットの敷き方（全面接着工法）

平場　　・ 市松敷き　・ 模様流し　・ 図示(図面番号：　　)

階段部分　・ 市松敷き　・ 模様流し　・ 図示(図面番号：　　)

下敷き材　・ 第2種2号、呼び厚さ8mm

・ 図示(図面番号：　　)

見切り、押え金物

・ 材質（　　）　・ 種類（　　）

・ 形状(図面番号：　　)

織じゅうたんの接合方法　・ ヒートボンド工法　・（　　）

7 合成樹脂塗床

(19.4.3)(表19.4.4)(表19.4.5)～(表19.4.8)

・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材(JISK 5970)

仕上げ

・ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ　・ つや消し仕上げ

・ エポキシ樹脂系塗床材(JISK 5970)

工法、仕上げ

・ 薄膜流しのべ工法（　・ 平滑　・ 防滑　）

・ 厚膜流しのべ工法（　・ 平滑　・ 防滑　）

・ 樹脂モルタル工法（　・ 平滑　・ 防滑　）

・ 薄膜型塗床工法（　平滑　）

8 フローリング張り

(19.5.2)(19.5.3)(19.5.4)(19.5.5)(19.5.6)(表19.5.2)(表19.5.4)

材料

・ 単層フローリング

・ フローリングボード(1等)　・ フローリングブロック(1等)

・ 複合フローリング

・ 釘留め工法

材料	工法	種別	樹種
・ フローリングボード （根太張用）	・ 根太張り ・ 直張り ・（　　）		・ なら ・（　　）
・ 複合フローリング （根太張用）		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ なら ・（　　）

・ 接着工法

材料		樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	表面緩衝材
・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ （直張用）		・ なら ・（　　）			・ 合成樹脂発泡シート
・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ （直張用）					
・ 複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ （直張用）	・ A種 ・ B種 ・ C種				

現場塗装

仕上げ　・ ウレタン樹脂ワニス塗り(・ A種　・ B種)

・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り

・ 生地のままワックス塗り

・（　　）

9 畳敷き

(19.6.2)(表19.6.1)

種別　・ A種　・ B種　・ C種　・ D種

・ D種の畳床　KT-（　・ Ⅰ　・ Ⅱ　・ Ⅲ　・ K　・N）

⑩ せっこうボード、その他のボード及び合板張り

(19.7.2)(表19.7.1)(19.7.3)(表19.7.3)(表19.7.5)

種類	種別	厚さ(mm)
・ せっこうボード		壁：・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 天井：
・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)
	・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9 ・（　　）
	・ 立体模様	・ 9 ・（　　）
⊙ けい酸カルシウム板	⊙ タイプⅡ0.8FK	⊙（ 9　　）
・（　　）	・（　　）	・（　　）

合板張り

・ 普通合板　表面の樹種名

・ (透明塗料塗り)ラワン　・ (不透明塗料塗り)しな

・ 生地のまま（　　）

板面の品質（　　）　厚さ（　　mm）

接着の程度　・ 1類(湿潤箇所)　・（　　）

防虫処理　・（　　）

・ 天然化粧合板　化粧板の樹種名　・（　　）

厚さ（　　mm）

接着の程度　・ 1類(湿潤箇所)　・（　　）

防虫処理　・（　　）

・ 特殊加工合板　化粧加工の方法

・ オーバーレイ　・ プリント　・塗装　・（　　）

表面性能（　　）　厚さ（　　mm）

接着の程度　・ 1類(湿潤箇所)　・（　　）

防虫処理　・（　　）

遮音シール材

・ 適用する(・ シーリング材　・ ジョイントコンパウンド)

下地　・ 軽量鉄骨　・ 木造　・（　　）

合板類の張付け　※ B種　・ A種

せっこうボードの目地工法

⊙ 継目処理　・ 突付け　・ 目透し

12 壁紙張り

(19.8.3)

施工箇所	種類	防火性能	品質

素地ごしらえ

せっこうボード面　※ B種　・ A種

コンクリート面　※ B種　・ A種

モルタル・プラスター面　※ B種　・ A種

13 断熱材

(19.9.2)(19.9.3)

施工箇所	材種	種類	厚さ(mm)
	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		
	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）		
	・ 硬質ウタンフォーム断熱材		
	・ フェノールフォーム断熱材		

⑳ ユニット及びその他工事

1 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	所定荷重	高さ(mm)	床仕上材及び厚さ(mm)	備考
			・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・（　　） ・ ビニル床タイル （　　）mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ 耐震性能 ・（　　）
			・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・（　　） ・ ビニル床タイル （　　）mm	

試験方法　20.2.2(2)(ｲ)(a) ～ (d)

寸法精度　20.2.2(2)(ｵ)(a) ～ (c)

2 可動間仕切

(20.2.3)

組立て方式

・ スタッド式　・ パネル式　・ スタッドパネル式

寸法及び形状　・ 図示(図面番号：　　)

表面材の材質及び仕上げ　・ 図示(図面番号：　　)

遮音性　・ 高遮音

3 移動間仕切

(20.2.4)

操作方法　・ 手動式　・ 電動式

表面材の材質及び仕上げ　・ 図示(図面番号：　　)

遮音性　・ 高遮音

ハンガーレールの取付け下地の補強

・ 標準仕様書[20.2.4](3)(ｳ)　・ 図示(図面番号：　　)

パネルをランナーに取り付ける部品

・ 標準仕様書[20.2.4](3)(ｴ)　・ 図示(図面番号：　　)

ハンガーレール

・ 標準仕様書[20.2.4](3)(ｵ)　・ 図示(図面番号：　　)

ランナー

・ 標準仕様書[20.2.4](3)(ｶ)　・ 図示(図面番号：　　)

ハンガーレールの固定方法

・ 溶接　・ あと施工アンカー（材質：　　、寸法：　　）

④ トイレブース

(20.2.5)

表面仕上　⊙ メラミン樹脂系化粧板

・ ポリエステル樹脂系化粧板

脚部　・ 幅木　・ 図示(図面番号：　　)

扉小口の材質　・ ステンレス製　⊙ アルミ製

5 階段滑り止め

(20.2.6)

・ ステンレスSUS304製　ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き)

・（　　）

寸法　・ 約35mm　・ 図示(図面番号：　　)

工法　・ 接着工法　・ 埋込み工法

6 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

・ 黒板

黒板の種類　・ 焼付け　・（　　）

黒板の色　・ 緑　・（　　）

・ ホワイトボード（白）

⑦ 鏡

(20.2.9)

厚さ　⊙ 5mm　・（　　mm）

⑧ 表示

(20.2.10)

区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法
⊙ 室名札 ・（　）	・ アクリル ・（　）	・	⊙ (図示)	・ シルクスクリーン印刷 ⊙ (ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ貼り)	⊙ 圧着貼り
⊙ 案内板 ・（　）	・ アクリル ⊙ (SUS)	・ 5mm	⊙ (図示)	・ シルクスクリーン印刷 ・（　　）	⊙ 削孔の上ﾋﾞﾝ接着留め

・ 衝突防止表示　図示（図面番号：　　）

・ 非常用進入口表示　図示（図面番号：　　）

9 煙突ライニング

(20.2.11)

適用安全使用温度　・（　　℃）

10 ブラインド

(20.2.12)

形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの種類
・ 横形ブラインド	・ アルミニウム合金 ・（　）	・ ギヤ式 ・ コード式 ・（　）	・ 25 ・（　）	・ 鋼製 ・（　）
・ 縦形ブラインド	・ アルミニウム合金 ・（　）	・ ギヤ式 ・ コード式 ・（　）	・ 80 ・ 100 ・（　）	・（　）

11 ロールスクリーン

(20.2.13)

操作方法　・ スプリング式　・ コード式　・ 電動式

寸法及び材種　・ 図示(図面番号：　　)

12 カーテン及びカーテンレール

(20.2.14)

カーテンの形式等

きれ地	ひだの種類	形式	開閉操作
・ ドレープ ・ レース ・ 図示（　）	・ フランスひだ ・ 箱ひだ　・ つまひだ ・ プレーンひだ　・ 片ひだ	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動
・ 暗幕 (遮光（　）級)	・（　　）	・（　）	・（　）

カーテンレール　・ アルミ製　・ ステンレス製

強さによる区分　・ 10-90　・（　　）

形状　・ シングル　・ ダブル

断面形状　・ 角形　・ C形　・ D形

13 プレキャストコンクリート工事

(20.3.2)(20.3.3)(20.3.4)

補強鉄線の径　・ 3.2mm　・（　　）

補強鉄線の網目寸法　・（　　）

設計基準強度Fc　・ 図示(図面番号：　　)

配筋　・ 図示(図面番号：　　)

取付方法　・ 図示(図面番号：　　)

14 間知石及び間知ブロック積

(20.4.2)(20.4.3)

材種　・（　　）

種類及び質量区分　・ 図示(図面番号：　　)

積み方　・ 谷積み　・ 布積み

目塗り　・（　　）

伸縮調整目地　・ 材種（　　）・ 厚さ（　　mm）

⑮ SUSフック

・材種(SUS)　・設置個所(各ブース内)　・ｽﾀﾞｯｷ/DFHK-BJ型　同等とする。

・材種(SUS)　・設置個所(足洗い場)　・ｽﾀﾞｯｷ/DFHK-RWS60型　同等とする。

㉑ 排水工事

1 ～ 6

略

機械設備特記仕様書による

㉒ 舗装工事

① 路床

(22.2.2)(22.2.3)(表22.2.1)(22.2.4)(22.2.5)

路床の材料（厚さは図示（図面番号：　A14　））

・ 遮断層　・ 川砂　・ 海砂又は良質な山砂

・ 凍上抑制層　・ 切込み砂利　・ 砂　・（　　）

・ フィルター層　・ 砂

路床安定処理　・ 行う

添加材料による安定処理

種類　・ 普通ポルトランドセメント

・ フライアッシュセメントB種　・ 生石灰（　　）号

・ 消石灰（　　）号

添加量（　　）kg/m³(目標CBR　・ 5以上　・（　　））

盛土に用いる材料

・ A種　⊙ B種　・ C種　・ D種　・ 建設汚泥から再生した処理土

C種の場合：建設発生土受入量（　　）m3

片道の運搬距離（　　）km

試験　・ 路床土の支持力比(CBR)試験

・ 路床締固め度の試験

・ 現場CBR試験

② 路盤

(22.3.2)(表22.3.1)(22.3.3)

舗装の種類	路盤の厚さ(mm) 車道部	歩道部	路盤材料
⊙ アスファルト舗装	⊙ (150)	・（　）	⊙ 再生クラッシャラン
・ カラー舗装	・（　）	・（　）	・ クラッシャラン
・ 透水性アスファルト舗装	・（　）	・（　）	鉄鋼スラグ
・ インターロッキングブロック舗装	・（　）	・（　）	・ クラッシャラン
・（　　）	・（　）	・（　）	・（　　）

③ アスファルト舗装

(22.4.2)～(22.4.6)(表22.4.1)～(表22.4.6)

舗装の構成及び厚さ　⊙ A-5-15　⊙ 図示(図面番号：　A14　)

・ A-3-10　・（　　）

表層の種類

⊙ 密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13)　・ 細粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13)

・（　　）

基層の種類

・ 粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(20)　・（　　）

試験　・ アスファルト混合物等の抽出試験

4 コンクリート舗装

(22.5.2)～(22.5.6)

舗装の構成及び厚さ　・ 図示(図面番号：　　)

構造　・ 標準仕様書［表22.5.1］　・（　　）

早強セメント　・ 使用する

注入目地材料　※ 低弾性タイプ　・ 高弾性タイプ

目地　・ 種類（　）　・ 間隔（　）

・ 標準仕様書［表22.5.3］

5 カラー舗装

(22.6.2)(22.6.3)

種類

・ 加熱系　構成及び厚さ（　　）

混合物　・ アスファルト　・ 石油樹脂系（顔料の添加量：　）

添加材　・ 着色骨材　・ 自然石

・ 常温系

工法　・ ニート工法　・ 塗布工法

着色部下部　・ アスファルト舗装　・ コンクリート舗装

6 透水性アスファルト舗装

(22.7.2)(22.7.6)(表22.7.1)

舗装材料及び厚さ

ストレートアスファルト

厚さ(mm)　・（　　）　・ 図示(図面番号：　　)

試験　・ 開粒度アスファルト混合物の抽出試験

7 ブロック系舗装

(22.8.2)(22.8.3)(表22.8.1)

舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・ コンクリート平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板	・ 300角 ・（　）	・ 60 ・（　）	目地 ・ 砂　・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し
・ インターロッキングブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・（　） 歩道部 ・ 60 ・（　）	表面加工 ・ 標準品 ・（　） 曲げ強度 ・（　）
	・ 植生用ブロック		・ 80　・ 100	
・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・（　）		・ 80～100	施工方法 ・ うろこ張り ・（　） 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

⑧ 砂利敷き

(22.9.2)(表22.9.1)

・ 通路部　※ A種　・ B種　・（　　）

⊙ 建物周囲　⊗ B種(t=100)・ A種　・（　　）

23 植栽及び屋上緑化工事

1 ～ 7

略

㉔ 外構工事

1 旗竿

材種　・ アルミニウム製　・（　　）

形式　テーパー付き　・ ロープ式　・ ハンドル式

脚部　・ 埋込式　・ ベース式

高さ(m)　・ 5　・ 6　・ 7

2 フェンス

・ ネットフェンス　・ 網材種(・ ビニル被覆鉄線　・（　））

・ メッシュフェンス

網材種(・ 樹脂皮膜　・ 工場塗装　・（　））

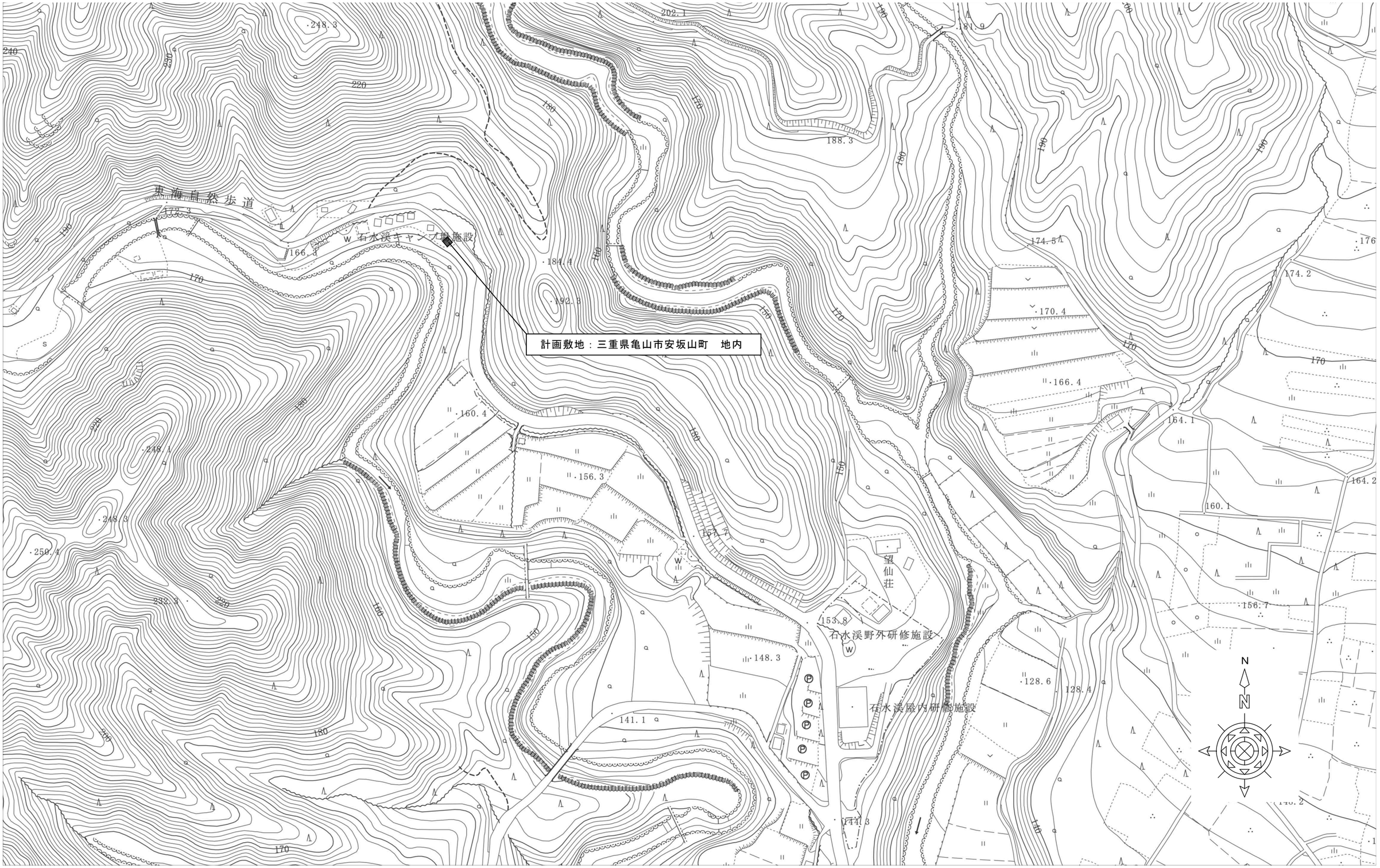
・ 格子フェンス

網材種(・ 樹脂皮膜　・ 工場塗装　・（　））

③ 車止め

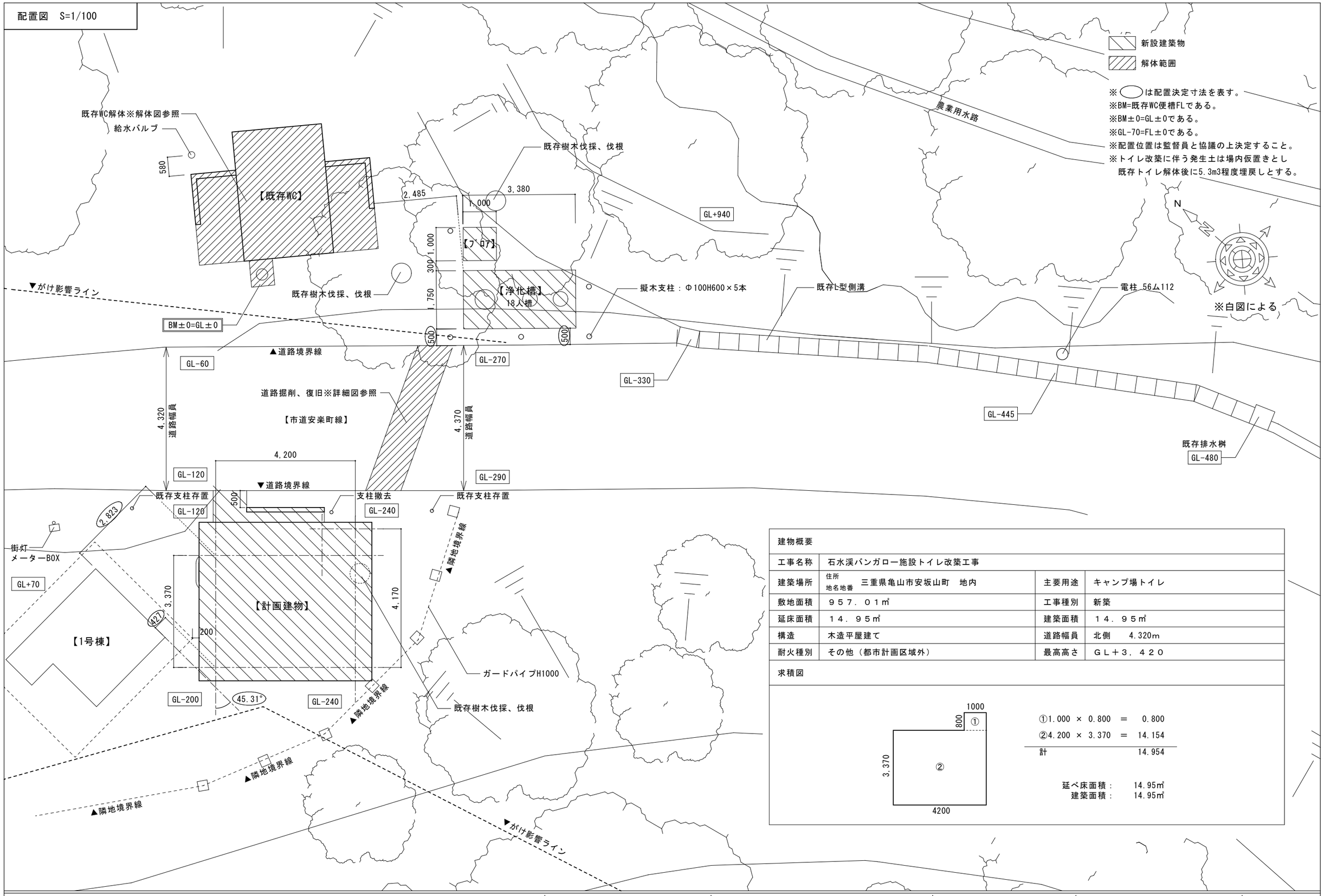
⊙ PC擬木　（ FR-1 ）

案内図　S=1/2500



石水渓バンガロー施設トイレ改築工事		案内図	S=1/2500	一級建築士事務所　コバリ建築設計 一級建築士　小林由紀子　登録番号第342316号 三重県知事登録　第1-2362号	A05

配置図　S=1/100



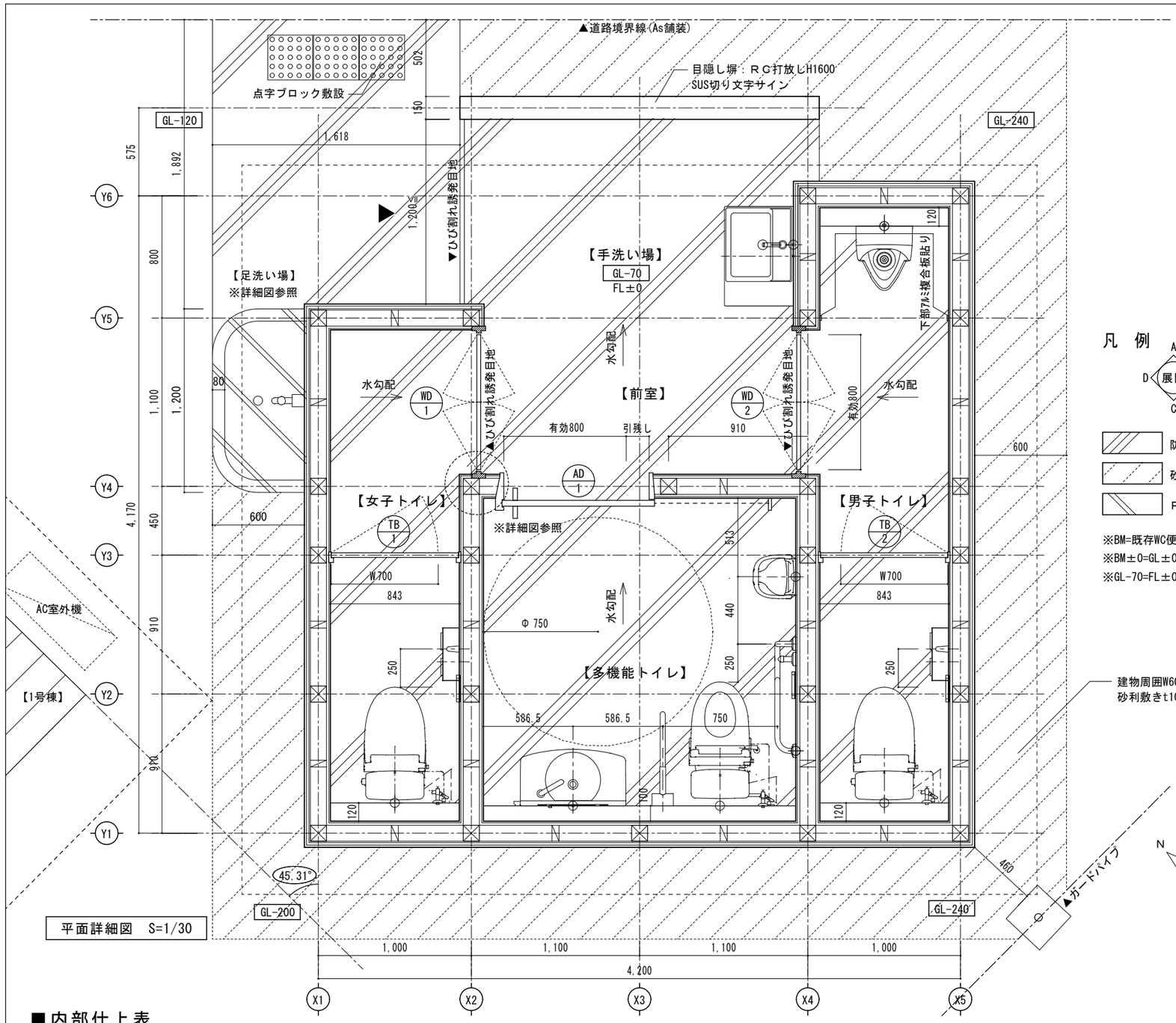
建物概要			
工事名称	石水渓バンガロー施設トイレ改築工事		
建築場所	住所 地名地番　三重県亀山市安坂山町　地内	主要用途	キャンプ場トイレ
敷地面積	９５７．０１㎡	工事種別	新築
延床面積	１４．９５㎡	建築面積	１４．９５㎡
構造	木造平屋建て	道路幅員	北側　4.320m
耐火種別	その他（都市計画区域外）	最高高さ	ＧＬ＋３，４２０

求積図

①1.000 × 0.800 ＝ 0.800
②4.200 × 3.370 ＝ 14.154
計 14.954

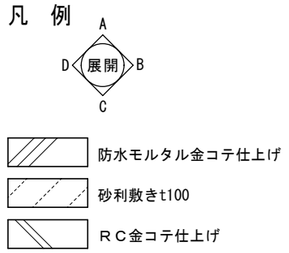
延べ床面積： 14.95㎡
建築面積： 14.95㎡

石水渓バンガロー施設トイレ改築工事	配置図・概要書・求積図	S=1/100	一級建築士事務所　コバリ建築設計 一級建築士　小林由紀子　登録番号第342316号 三重県知事登録　第1-2362号	A06

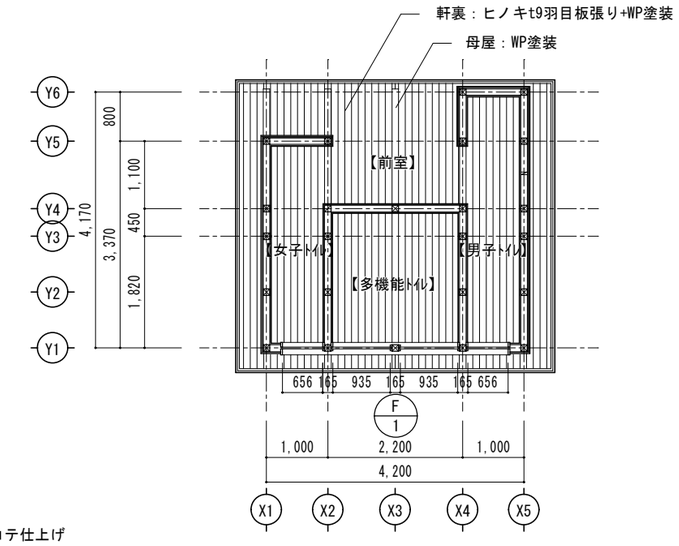


平面詳細図　S=1/30

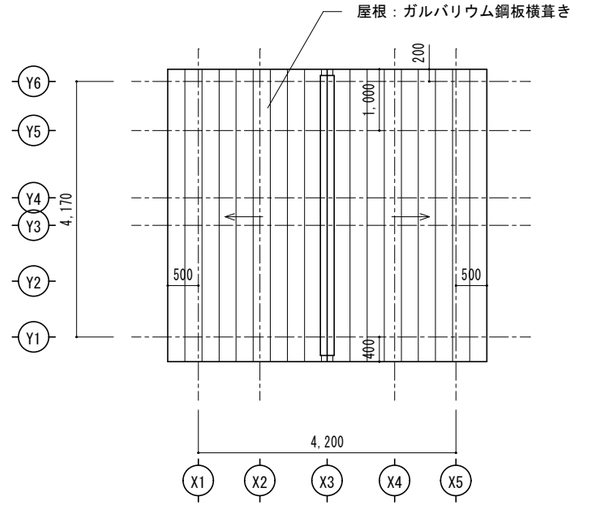
凡　例



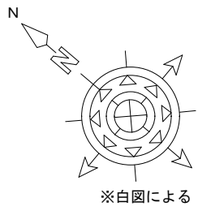
※BM=既存WC便槽FLである。
※BM±0=GL±0である。
※GL-70=FL±0である。



天井伏図　S=1/100



屋根伏図　S=1/100



※白図による

■内部仕上表

室名	床	巾木	壁	天　井	備　考
女子トイレ	防水モルタル金コテ仕上げt30	RC基礎立上り	ケイカル板t9+EP-G塗装	ヒノキt9羽目板張り+WP塗装	サイン、便器、ペーパーホルダー、I型手すり、リモコン、ライニング、SUS製フック
男子トイレ	防水モルタル金コテ仕上げt30	RC基礎立上り	ケイカル板t9+EP-G塗装 アルミニウム複合板貼り	ヒノキt9羽目板張り+WP塗装	サイン、小便器、ライニング、SUS製フック 便器、ペーパーホルダー、I型手すり、リモコン、ライニング
多機能トイレ	防水モルタル金コテ仕上げt30	RC基礎立上り	ケイカル板t9+EP-G塗装	ヒノキt9羽目板張り+WP塗装	便器、手洗い、鏡、可動式手摺、L字手摺、非常通報装置、ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾙﾀﾞｰ、ﾍﾞﾋﾞｰｷｰﾌﾟ
前室	防水モルタル金コテ仕上げt30	RC基礎立上り	ヒノキt12羽目板縦張り+WP塗装	ヒノキt9羽目板張り+WP塗装	

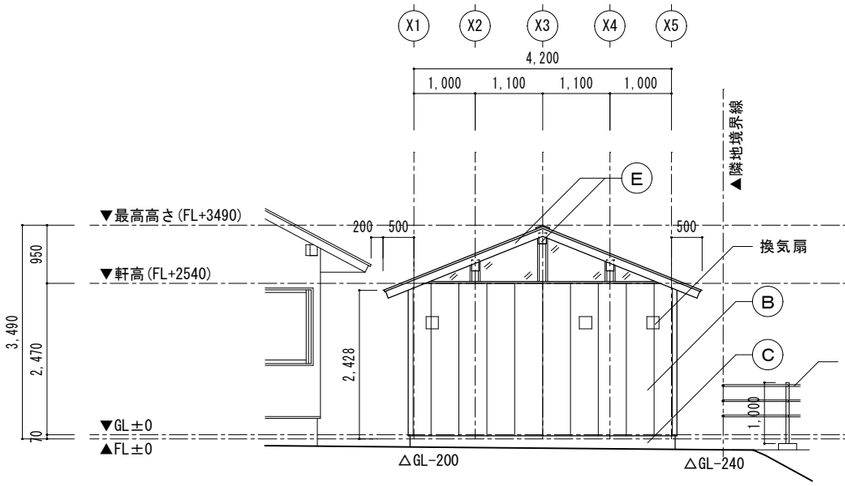
■ガルバリウム鋼板
日鉄鋼板／ニスク同等品とする。
■サイディング
ﾆﾁﾊ株式会社／ﾓｴﾝｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞｰM14ｼﾝﾌﾟﾙﾗｲﾝ同等品とする。
■アルミニウム複合板
三菱ｹﾐｶﾙｲﾝﾌﾗﾃｯｸ株式会社／アルポリック同等品とする。
■SUS製フック
ｽｶﾞｯﾈ／DFHK-BJ型同等品とする。

石水渓バンガロー施設トイレ改築工事	内部仕上表・平面図・天井伏図・屋根伏図	S=1/30・1/100	一級建築士事務所　コバリ建築設計 一級建築士　小林由紀子　登録番号第342316号 三重県知事登録　第1-2362号	A07

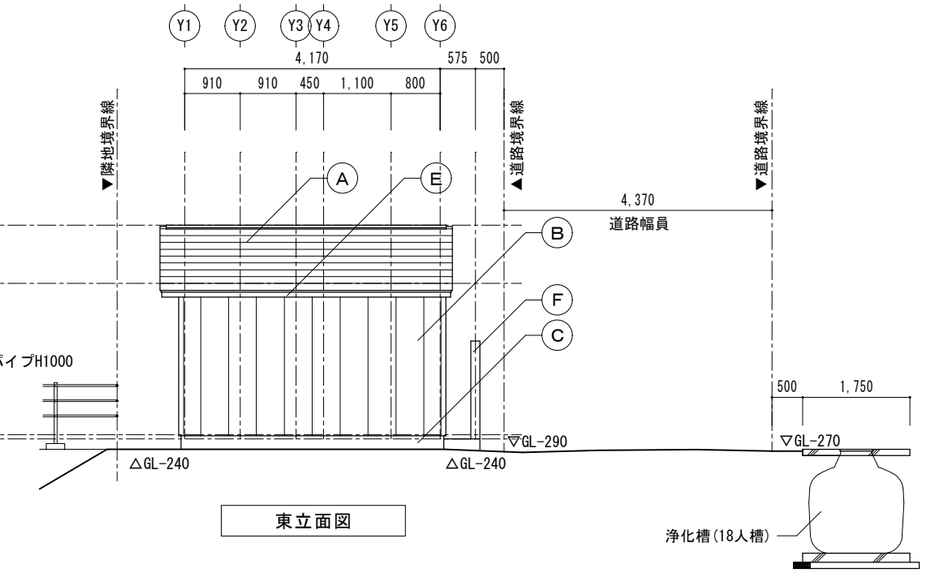
■外部仕上表

	仕　上　げ	備　考（下地）
屋根	ガルバリウム鋼板横葺き	改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ、構造用合板t12、垂木45*60
外壁	サイディングt14縦張り	防腐胴縁t16、透湿防水シート、構造用合板t12
軒裏	ヒノキt9羽目板張り+WP塗装	
目隠し壁	ＲＣ打放しパネコート型枠	SUS切り文字ｻｲﾝ
手洗い場、前室	サイディングt14縦張り	防腐胴縁t16、透湿防水シート、構造用合板t12
	ヒノキt12羽目板縦張り+WP塗装	防腐胴縁t16
外構	足洗い槽：ＲＣ金コテ仕上げ（ワイヤーメッシュD4 100×100敷設）、SUS製フック 建物周囲：砂利敷きt100 浄化槽周囲：擬木支柱Φ100H600×5本 点字ブロック	

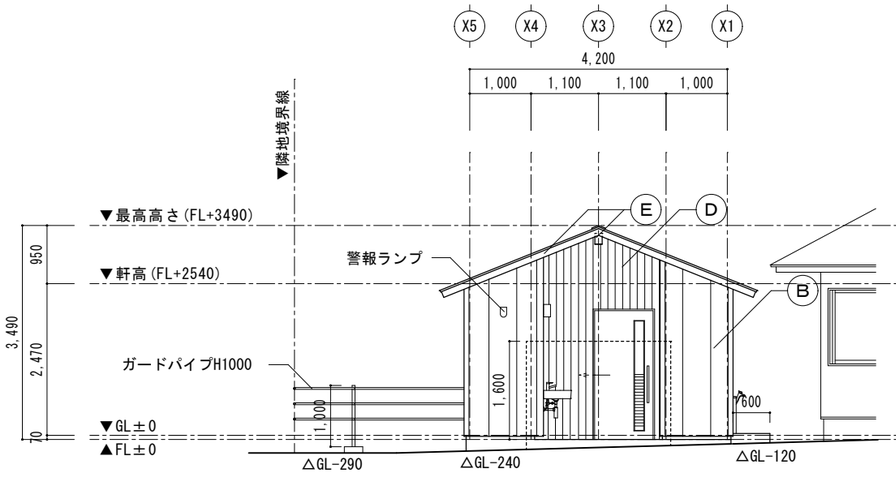
Ⓐ ガルバリウム鋼板横葺き
Ⓑ サイディングt14縦張り
Ⓒ ＲＣ打放し基礎
Ⓓ ヒノキt12縦張り+WP塗装
Ⓔ 鼻隠し、ケラバ、柱表し+WP塗装
Ⓕ ＲＣ打放しパネコート型枠



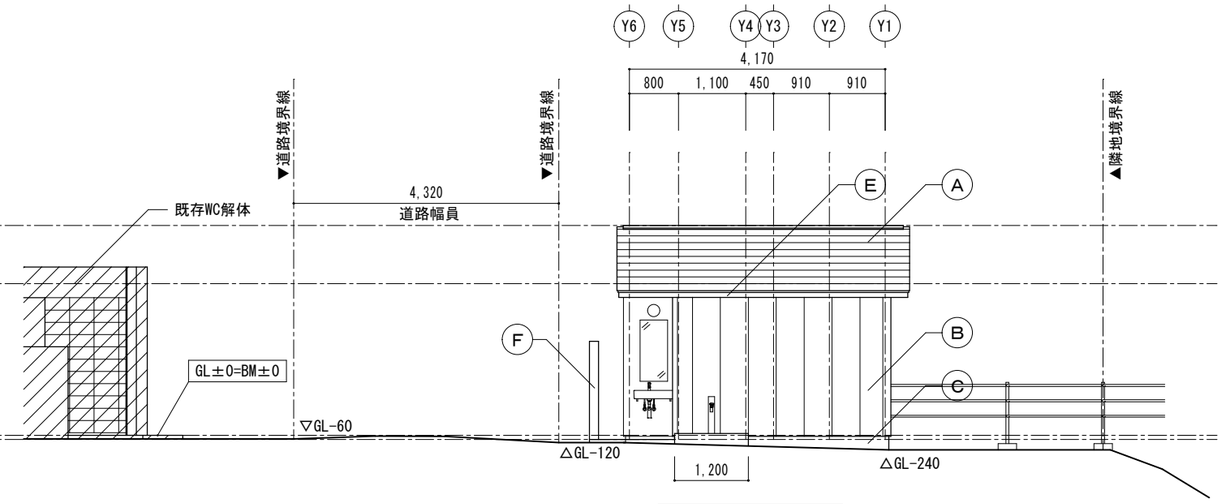
南立面図



東立面図

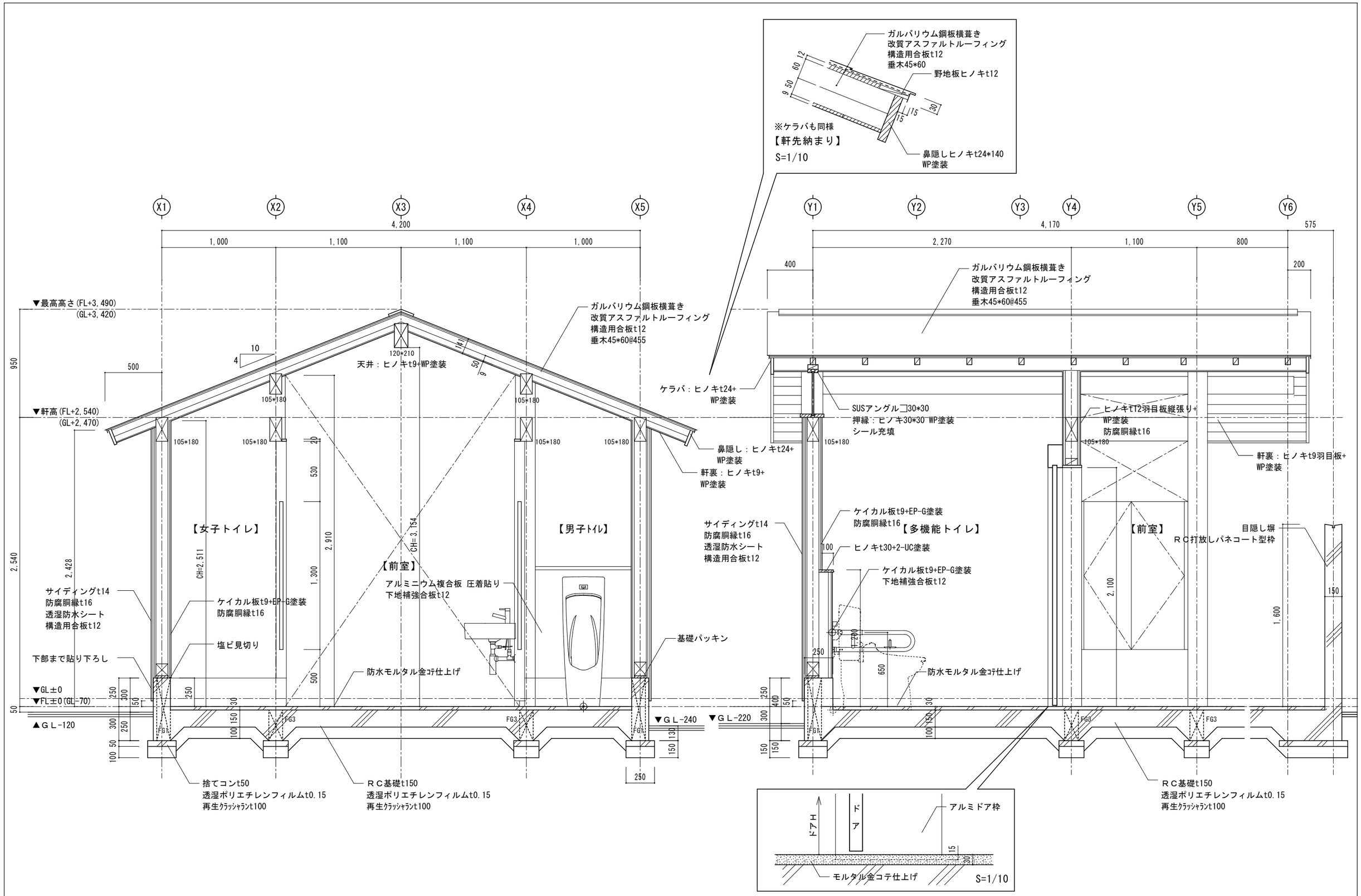


北立面図



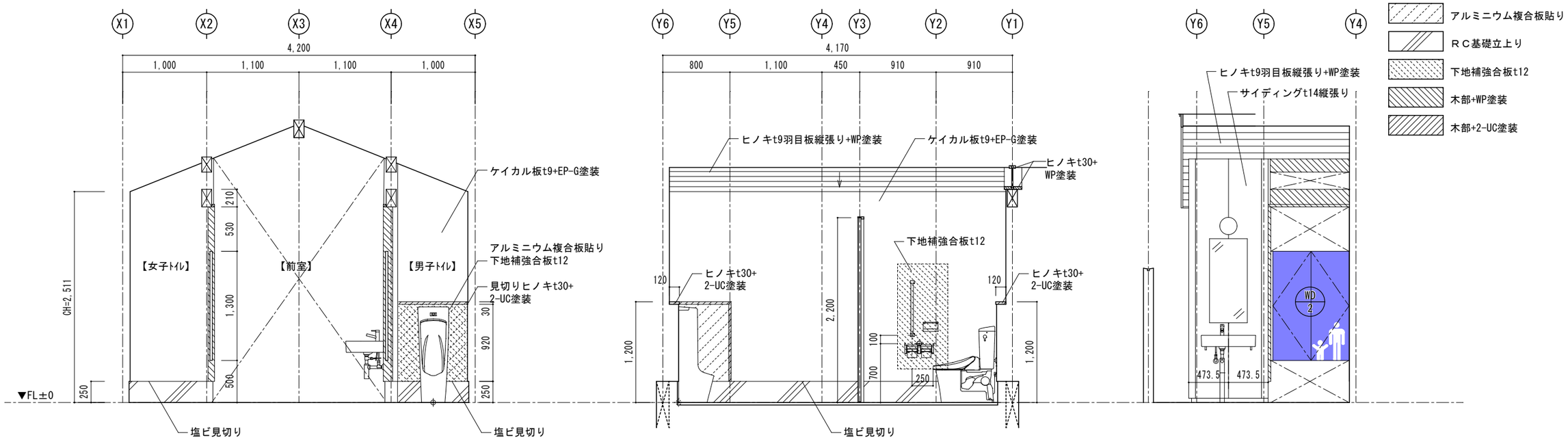
西立面図

石水渓バンガロー施設トイレ改築工事		立面図・外部仕上表	S=1/100	一級建築士事務所　コバリ建築設計 一級建築士　小林由紀子　登録番号第342316号 三重県知事登録　第1-2362号	A08



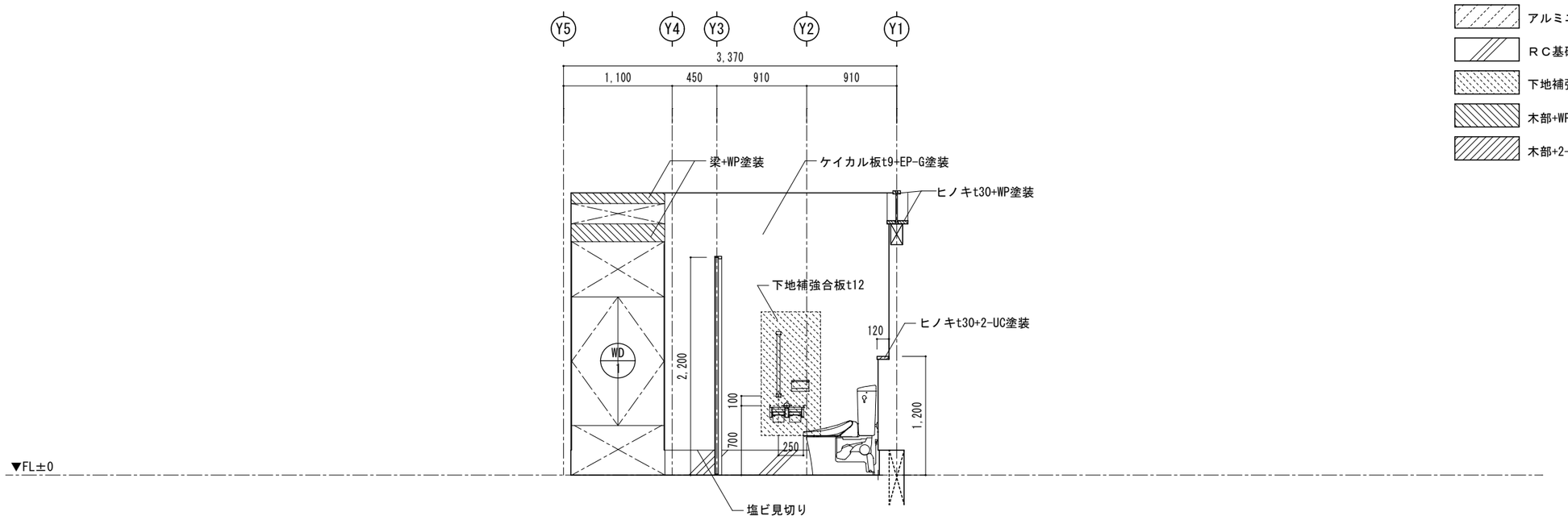
石水渓バンガロー施設トイレ改築工事		矩計図	S=1/30	一級建築士事務所　コバリ建築設計 一級建築士　小林由紀子　登録番号第342316号 三重県知事登録　第1-2362号	A09

男子トイレ



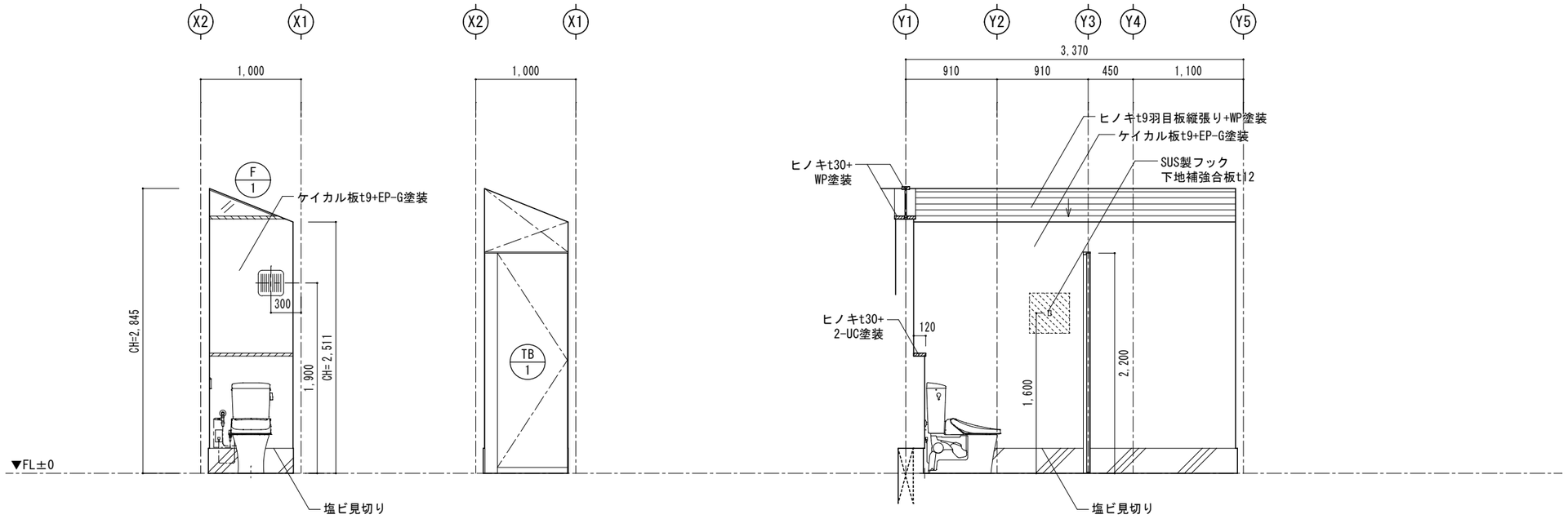
石水渓バンガロー施設トイレ改築工事	展開図１	S=1/50	一級建築士事務所　コバリ建築設計 一級建築士　小林由紀子　登録番号第342316号 三重県知事登録　第1-2362号	A10

女子トイレ



—B—

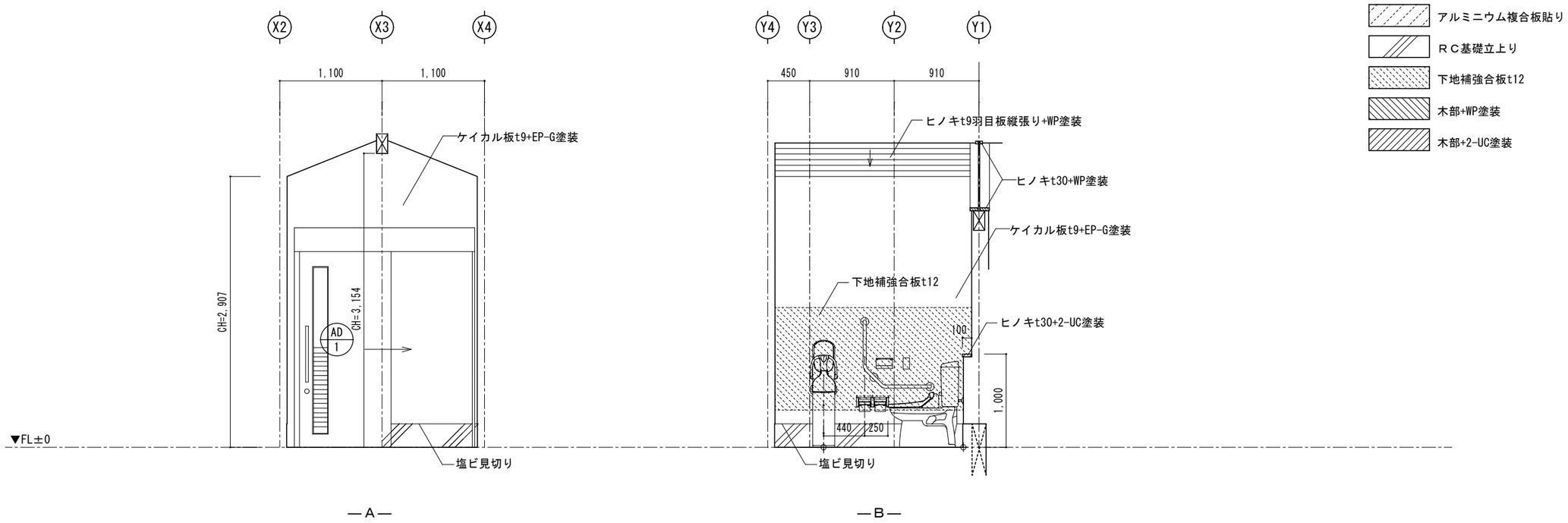
アルミニウム複合板貼り
ＲＣ基礎立上り
下地補強合板t12
木部+WP塗装
木部+2-UC塗装

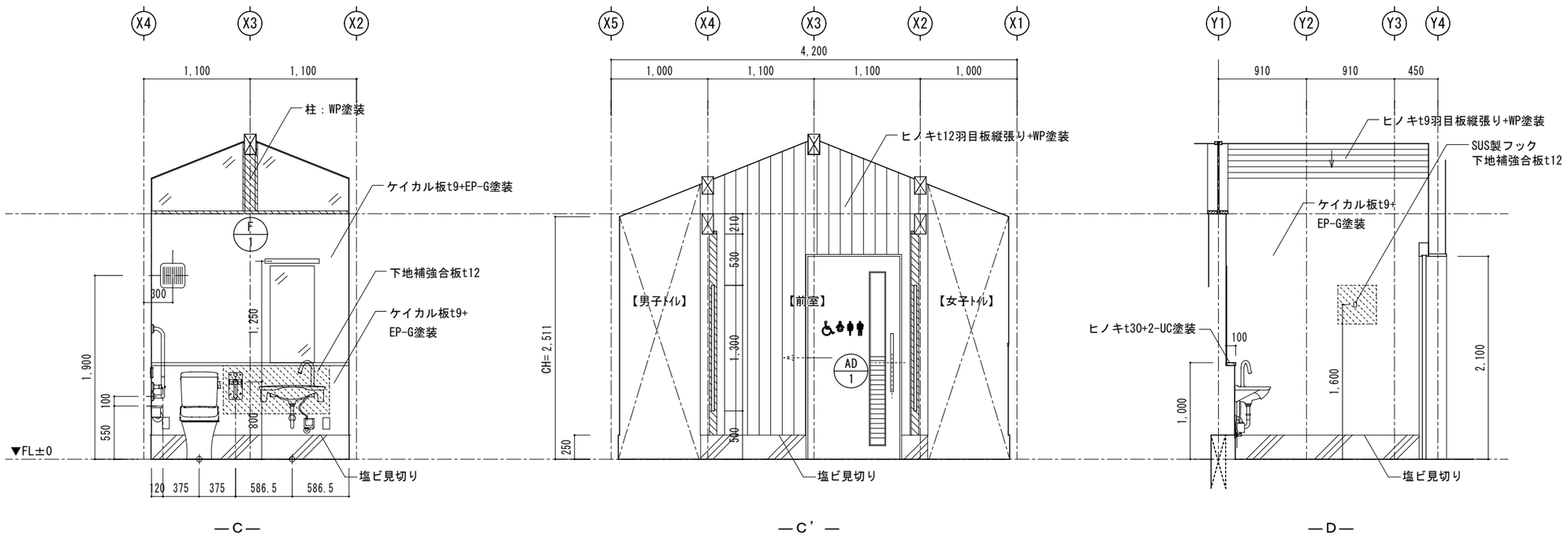


—C—　—C'—　—D—

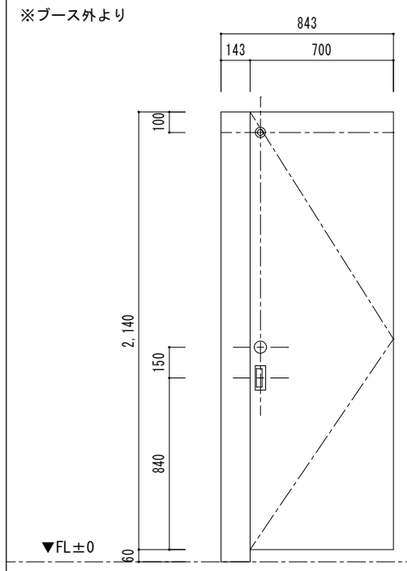
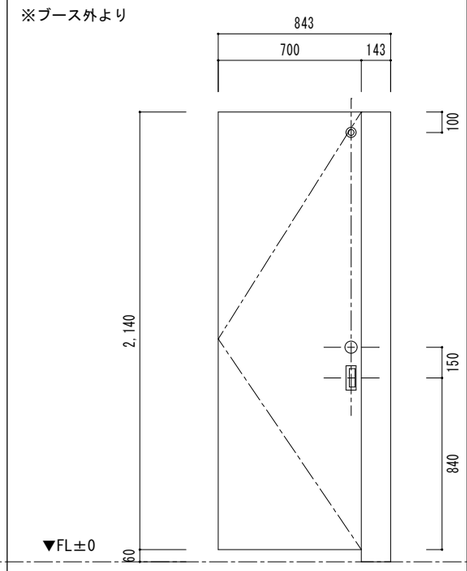
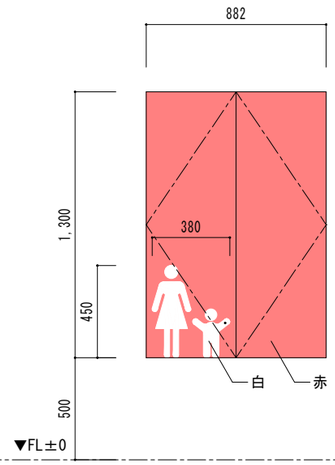
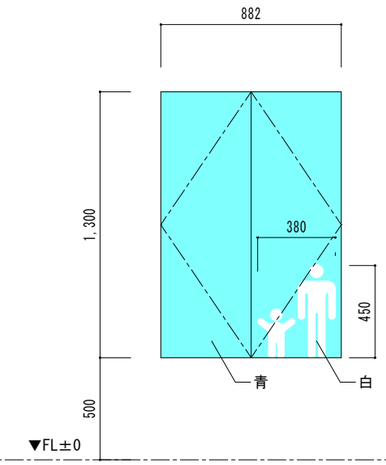
石水渓バンガロー施設トイレ改築工事	展開図２	S=1/50	一級建築士事務所　コバリ建築設計 一級建築士　小林由紀子　登録番号第342316号 三重県知事登録　第1-2362号	A11

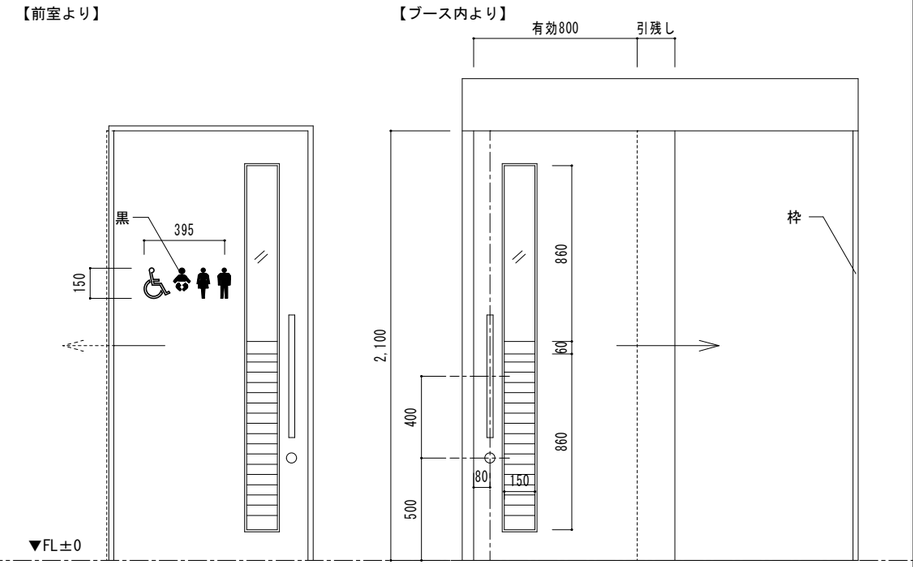
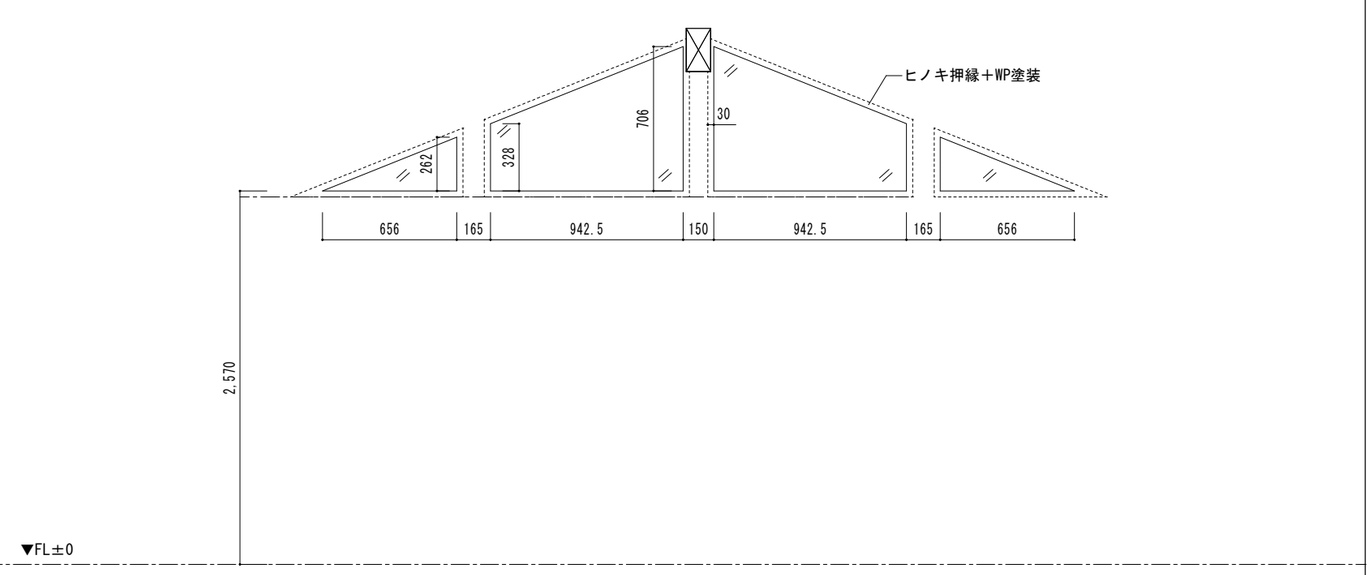
多機能トイレ





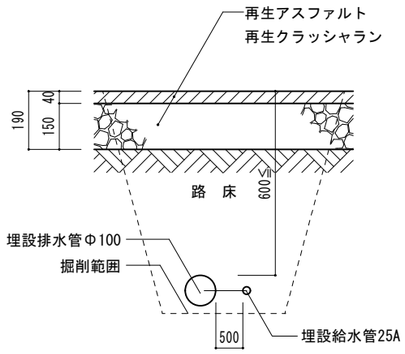
石水渓バンガロー施設トイレ改築工事	展開図３	S=1/50	一級建築士事務所　コバリ建築設計 一級建築士　小林由紀子　登録番号第342316号 三重県知事登録　第1-2362号	A12

	TB 1 トイレブース 女子トイレ	TB 2 トイレブース 男子トイレ	WD 1 フラッシュ両開き戸 女子トイレ	WD 2 フラッシュ両開き戸 男子トイレ	
姿図	※ブース外より 	※ブース外より 	【前室より】 	【前室より】 	
戸厚	40/ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り	40/ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り	25/ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り、サイン/カッティングシート貼り	25/ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り、サイン/カッティングシート貼り	
金物	引手、表示器付ラッチ錠 グラビティ丁番、戸当たり	引手、表示器付ラッチ錠 グラビティ丁番、戸当たり	スプリング自由丁番	スプリング自由丁番	

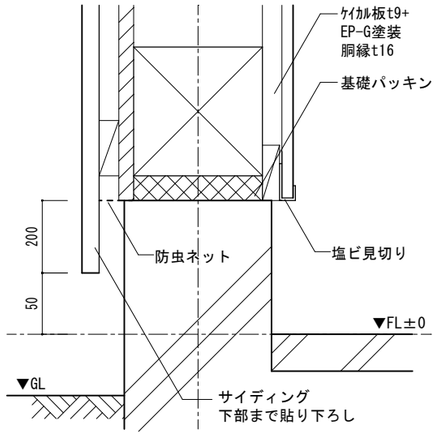
	AD 1 鋼製外付け片引き戸 多機能トイレ	F 1 ＦＩＸガラス 各室
姿図	【前室より】 【ブース内より】 	
戸厚	40/鋼板貼り(アルミ)、強化型ガラスFW5、サイン／カッティングシート貼り	FL5/強化ガラス+飛散防止フィルム
金物	ハンガーレール金物(傾斜レール自閉タイプ)、ガラリ SUS引手W=600、表示器付ラッチ錠	SUSアングル□30*30、ヒノキ押縁＋WP塗装、シーリング

石水渓バンガロー施設トイレ改築工事	建具表	S=1/30	一級建築士事務所　コバリ建築設計 一級建築士　小林由紀子　登録番号第342316号 三重県知事登録　第1-2362号	A13

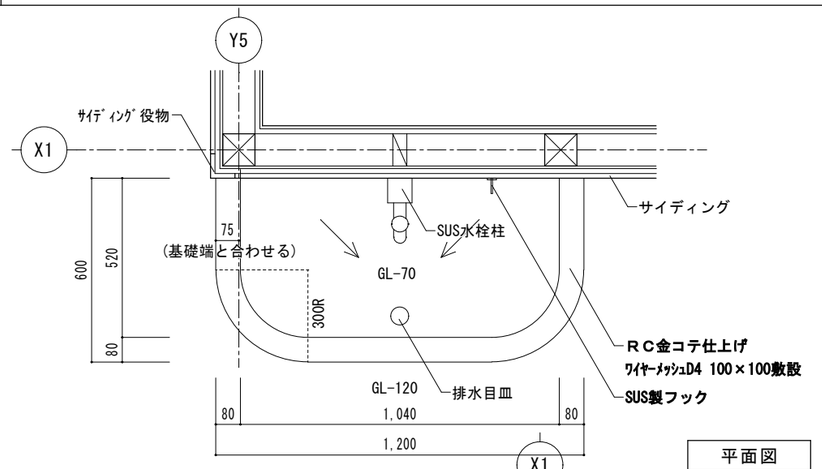
1 道路舗装(復旧) 詳細図 S=1/20



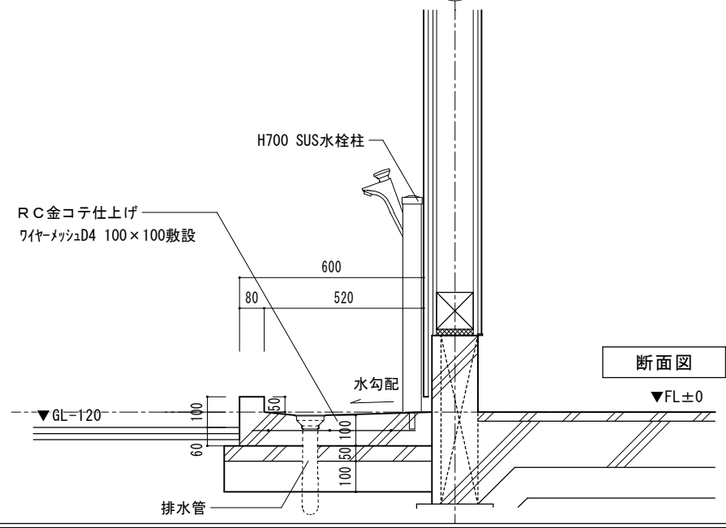
2 見切り 詳細図 S=1/5



3 足洗い槽廻り 詳細図 S=1/20

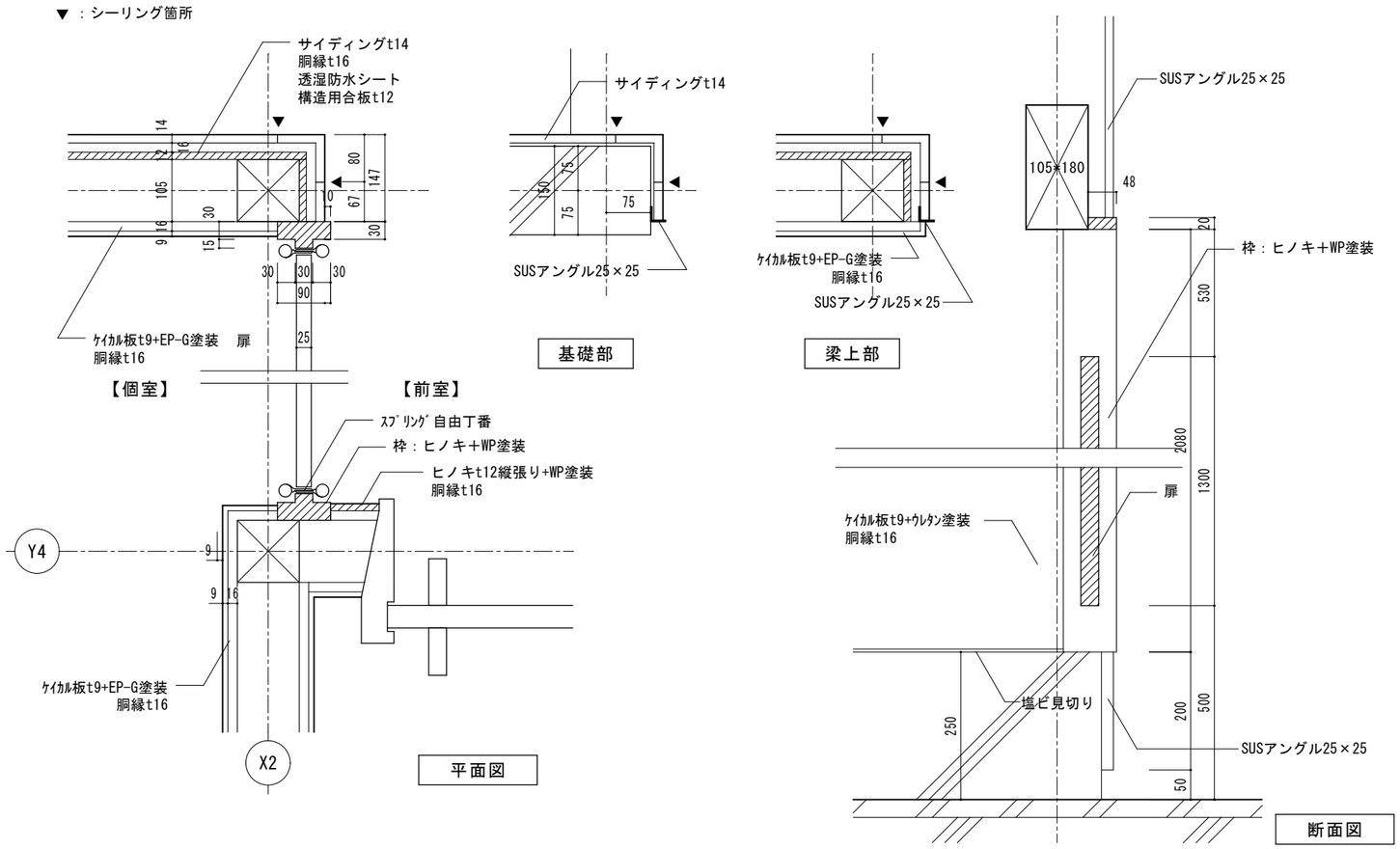


平面図



断面図

4 両開き建具枠 詳細図 S=1/10

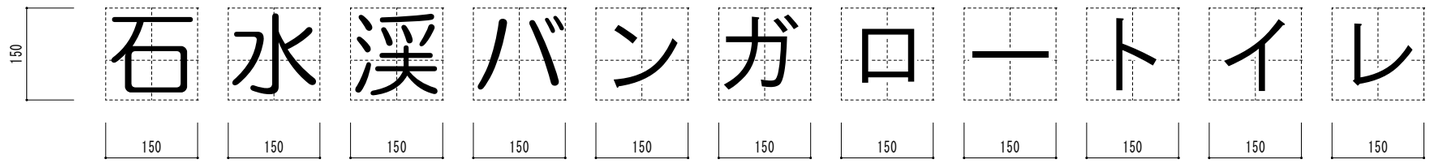


5 外部サイン 詳細図 S=1/10

SUS切り文字ｻｲﾝ

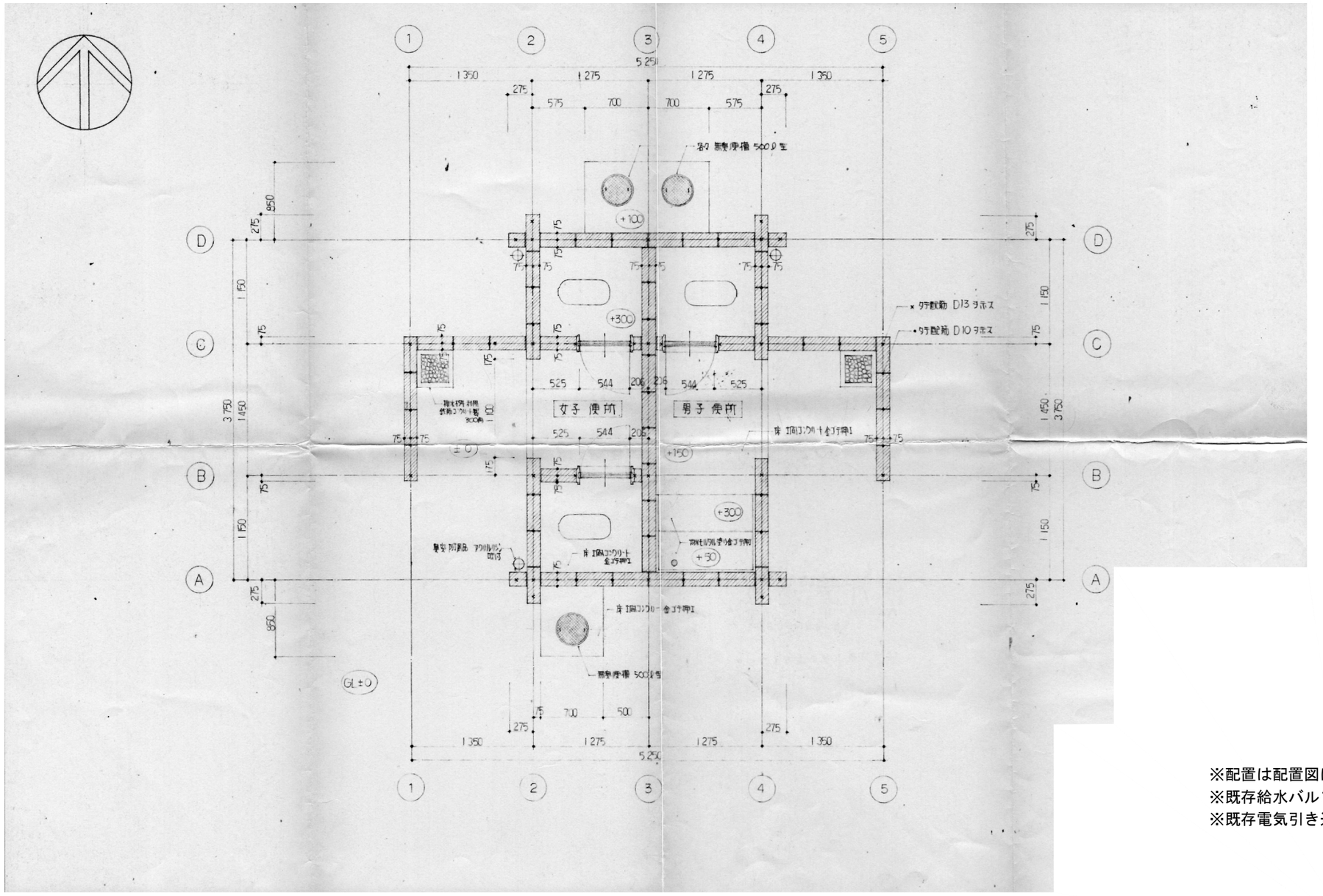
本体：SUS t5.0 HL

取付：削孔の上ピン接着留め



石水渓バンガロー施設トイレ改築工事	詳細図	S=1/5・10・20・30	一級建築士事務所 コバリ建築設計 一級建築士 小林由紀子 登録番号第342316号 三重県知事登録 第1-2362号	A14

参考既存図

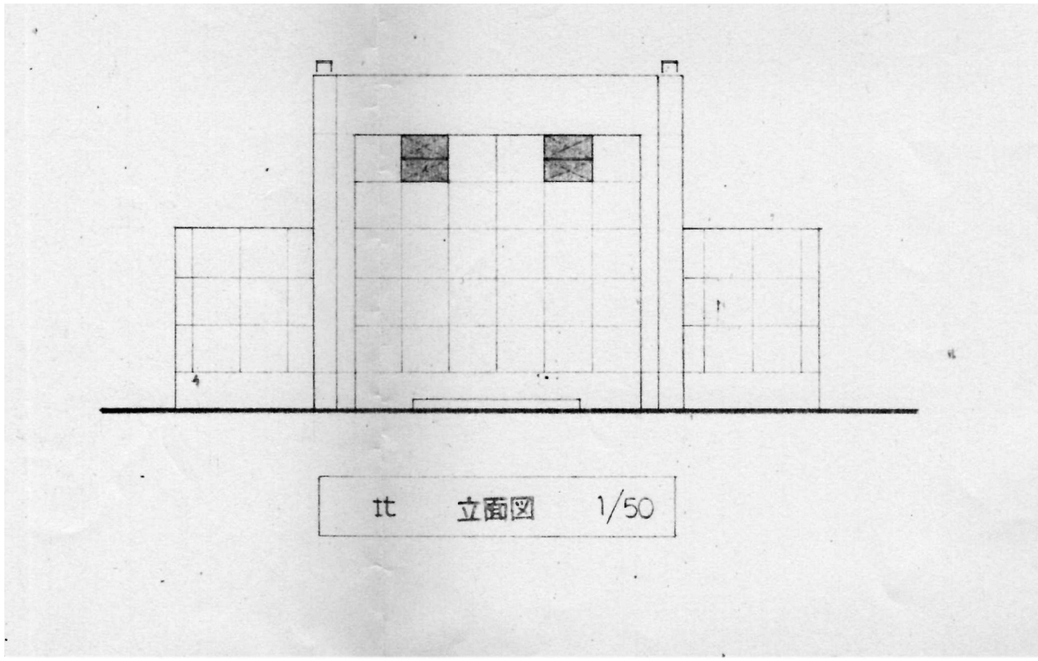


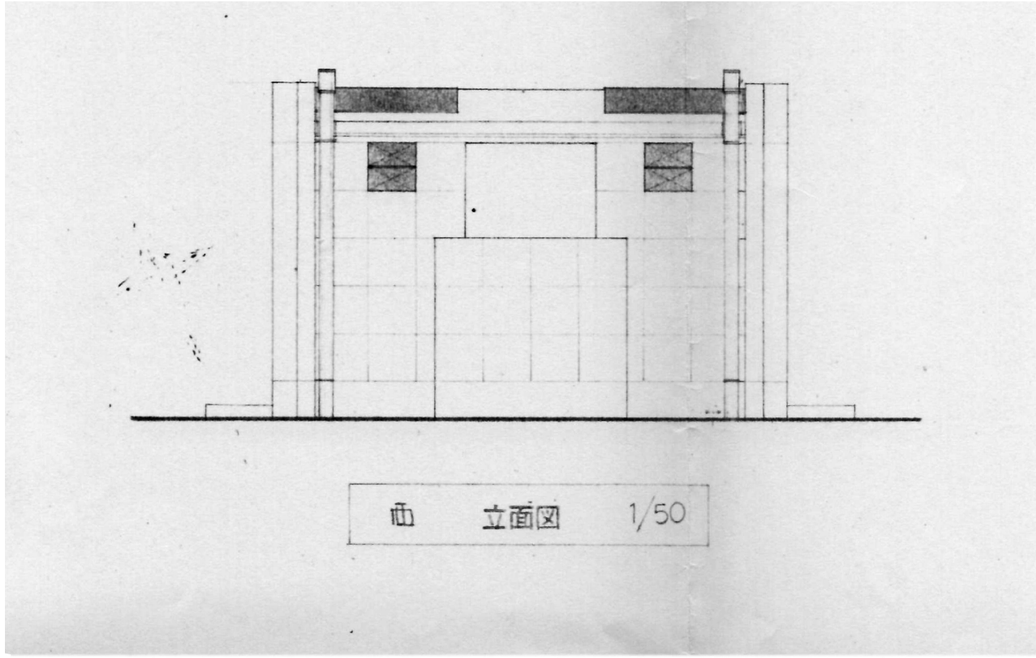
※配置は配置図による。
※既存給水バルブは撤去・交換。
※既存電気引き込み・配線は撤去。

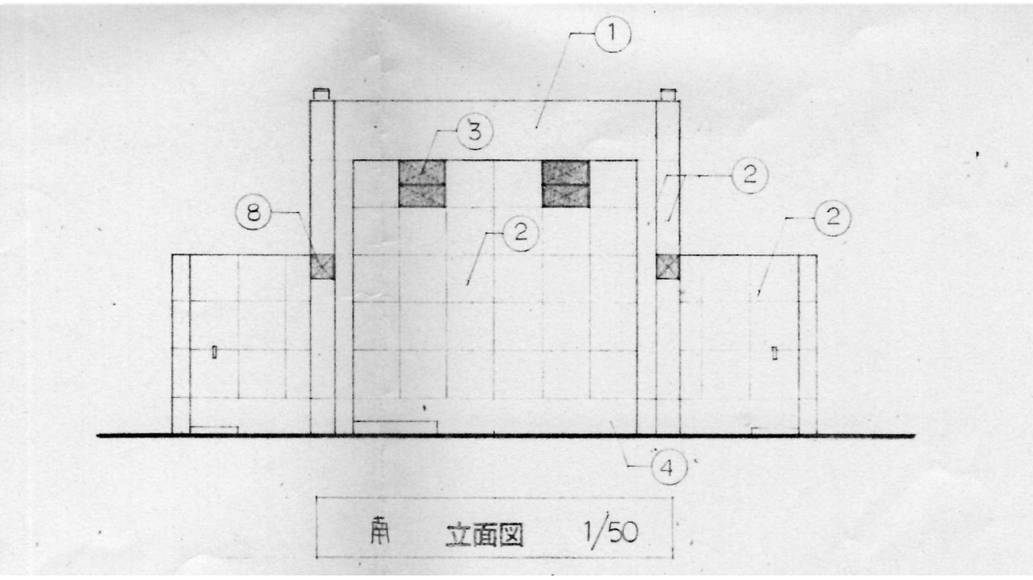
石水渓バンガロー施設トイレ改築工事		解体詳細図１	S=1/50	一級建築士事務所　コバリ建築設計 一級建築士　小林由紀子　登録番号第342316号 三重県知事登録　第1-2362号	A15

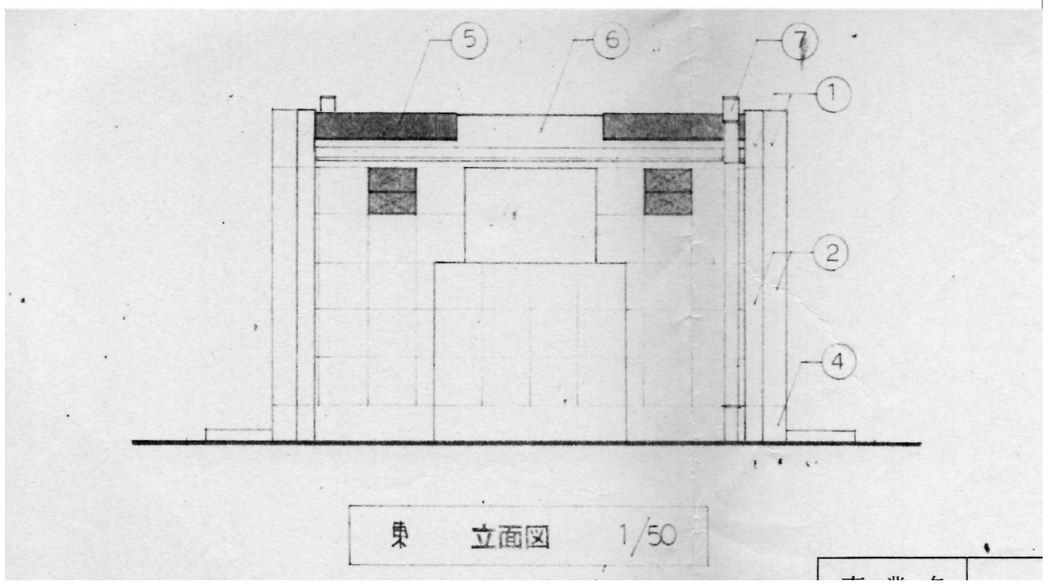
参考既存図

① 合板型枠コンクリート打放シ上 アクリルリシン吹付
② 防水ブロック @150 化粧積ミー部目地消上 アクリルリシン吹付
③ 穴アキブロック @150 アクリルリシン吹付
④ 巾木 合板型枠コンクリート打放シ付上
⑤ ポリカーボネート樹脂板 @3ᵗ ブロンズ色(1219×2438)利用
⑥ 屋根 コンクリート金コテ押エ上 塗膜防水(立上り 天端共)
⑦ 換気 煙突 既製品利用アクリルリシン吹付 上部ベンチレーター付
⑧ 男女別表示板 アクリル製 既製品



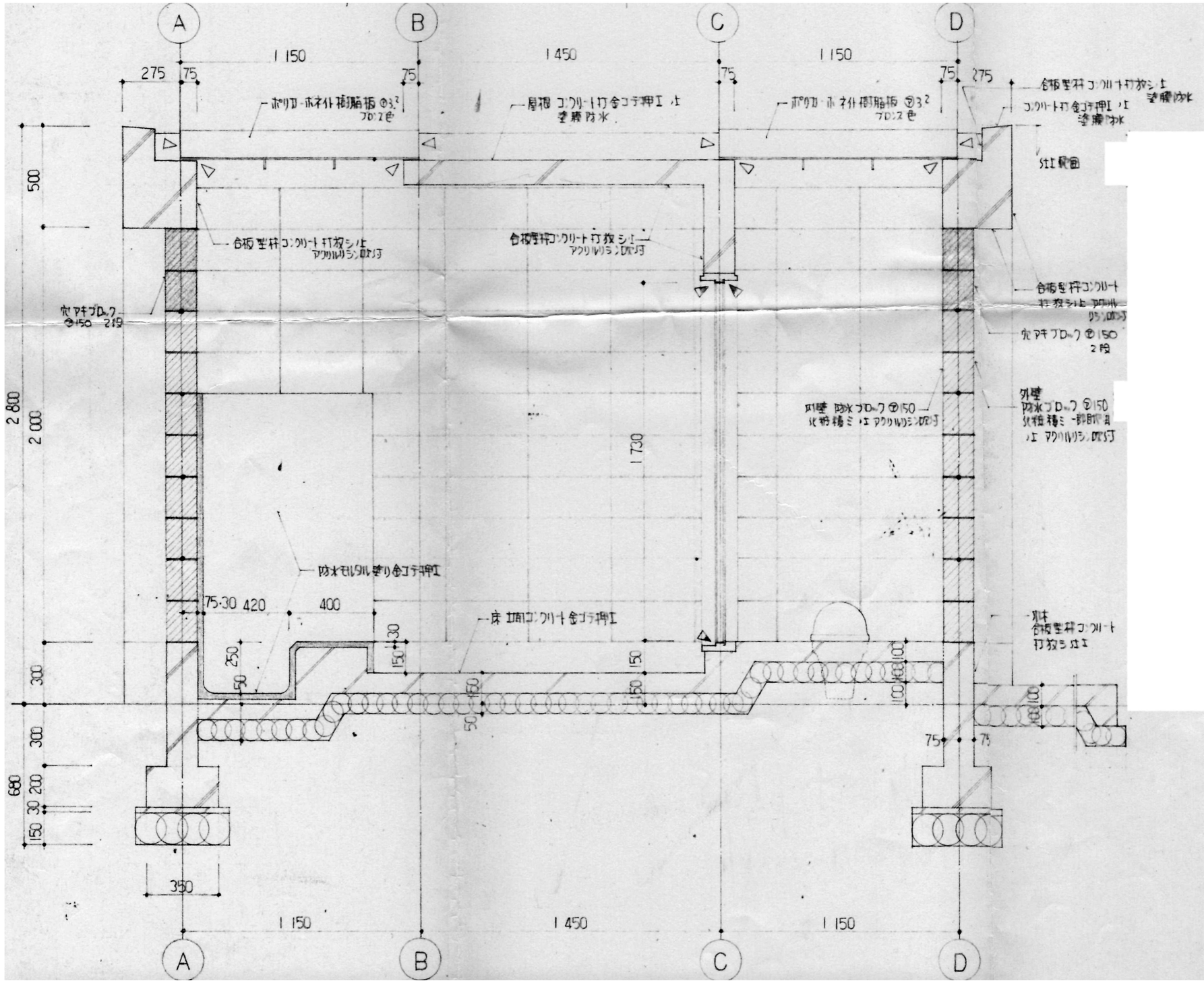




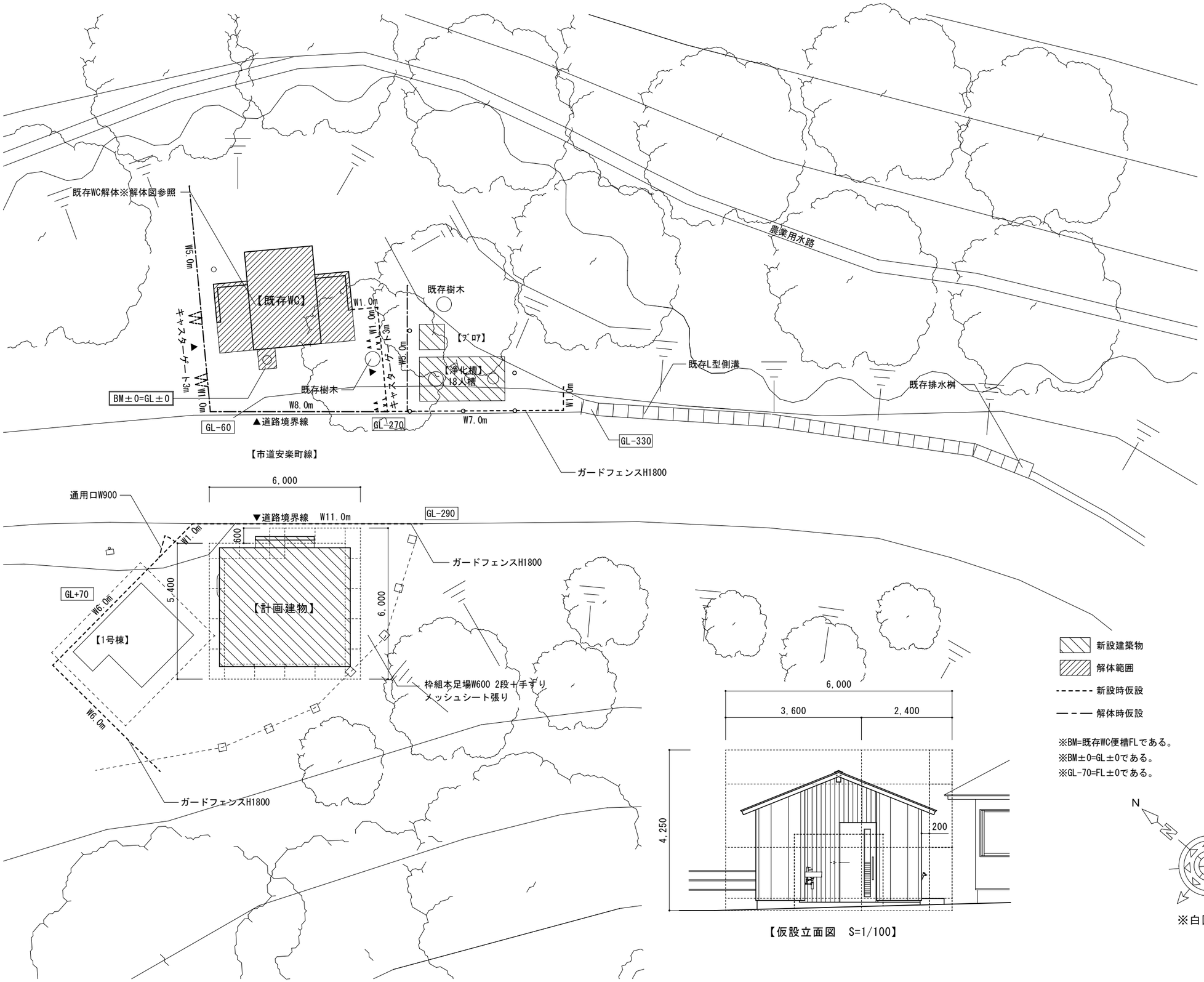


石水渓バンガロー施設トイレ改築工事	解体詳細図２	S=1/50	一級建築士事務所 コバリ建築設計 一級建築士 小林由紀子 登録番号第342316号 三重県知事登録 第1-2362号	A16

参考既存図



石水渓バンガロー施設トイレ改築工事		解体詳細図３	S=1/30	一級建築士事務所　コバリ建築設計 一級建築士　小林由紀子　登録番号第342316号 三重県知事登録　第1-2362号	A17



【仮設立面図　S=1/100】

石水渓バンガロー施設トイレ改築工事	仮設計画図（参考）	S=1/100・1/150	一級建築士事務所　コバリ建築設計 一級建築士　小林由紀子　登録番号第342316号 三重県知事登録　第1-2362号	A18